取扱説明書

リチウムイオン蓄電システム

Enerezza®

エネレッツァ







システム型式

お買い上げの機種のシステム型式に、チェックマーク ☑ を入れて、お問い合せ時にご利用ください。

・蓄電池ユニット LBS-0500 を使用したシステム

☐ EGS-LM0500　☐ EGS-LM1000　☐ EGS-LM1500

・蓄電池ユニット LBS-0550 を使用したシステム

☐ EGS-LM0550　☐ EGS-LM1100　☐ EGS-LM1650

このたびは、京セラ製リチウムイオン蓄電システム
「Enerezza ®（EGS-LM0500/1000/1500 および EGS-LM0550/1100/1650）」を
お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
取扱説明書は保証書とともに大切に保管してください。
※取扱説明書は予告なく改訂される場合があります。
最新の取扱説明書は下記URLもしくはQRコードよりダウンロードしてください。
https://www.kyocera.co.jp/solar/support/download/uploads/Enerezza_torisetsu.pdf
※蓄電池ユニット、パワーコンディショナ、リモコンの表示図の縮小比率はそれぞれ異なります。

目次

お使いになる前に

安全のために必ずお守りください……3
取扱い上のお願い……5
蓄電システムの構成……6
蓄電システムの特長……7
各部の名称……8

蓄電池の使いかた

通常時の使い方（連系運転）…… 14
　運転モードを設定する…… 14
　充放電を一時的に止める場合…… 17
おまかせ運転モード…… 18
停電時の使い方（自立運転）…… 20
　非常時運転モード/非常時安心設定を設定する …… 20
　停電発生時の操作…… 22
　停電復帰時の操作…… 23
　停電時の家電製品利用に関するご注意…… 23
画面の明るさや操作音などの設定を変更する…… 24
ネットワークの設定…… 25
　誤ってネットワーク設定画面に入った場合…… 25
　ネットワークの通信状態を確認する場合…… 25
日時の設定…… 26
お知らせを確認する…… 27
機器情報（ゲートウェイIDなど）を確認する …… 28

こんなときは

こんなときは…… 29
エラーメッセージが表示されたとき…… 35

保証とアフターサービス

保証とアフターサービス…… 37
ソフトウェアの自動更新について…… 37
設定情報のリセットについて…… 37
蓄電池のメンテナンスモードについて…… 38

その他

仕様…… 39
外形寸法…… 40
ソフトウェアライセンスについて…… 41
補助金に関するご注意…… 43

安全のために必ずお守りください

■ ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■ ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
■ お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。

ここに示した事項は、⚠警告 ⚠注意に区分しています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される事項

警告図記号については次のような意味があります。

⊘	＊ 一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告	❗	＊ 一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示

⚠警告	
⊘	**分解・改造をしない** ・感電・火災のおそれがあります。 ・保証対象外となります。
⊘	**蓄電池ユニットおよびパワーコンディショナのフロントカバーを開けない** ・内部に電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
⊘	**強い衝撃を与えない** ・変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。
⊘	**上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を載せない** ・装置が変形･脱落し、感電･けが･故障のおそれがあります。
⊘	**子供を近づけない** ・感電･火災･けがのおそれがあります。
⊘	**植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器(ICD)を使用している方は、充放電中の本製品に近づかない** ・機器本体からの電磁波が、ペースメーカーおよび ICD の作動に影響を与えるおそれがあります。
⊘	**災害などにより蓄電システムが浸水、水没、変形、破損、転倒などした場合、本製品には近づかない** ・感電、有害ガス発生、発火等の危険がありますので、「蓄電システムを停止させる場合 (☞32ページ)」に従って蓄電システムを停止させ、すみやかにお買い上げの販売会社にご連絡ください。
⊘	**近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用したり引火物を近くに置かない** ・電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。

⚠警告	
⊘	**非常時兼用コンセントには灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものに接続しない** ・災害時に接続している機器の異常に気が付かないまま使用することで、火災のおそれがあります。
⊘	**非常時兼用コンセントには、太陽光パワーコンディショナや外部発電機を接続しない** ・感電･火災･故障のおそれがあります
⊘	**非常時兼用コンセントには、生命にかかわる機器(医療機器)や途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない** ・蓄電池の電力が不足すると機器が停止するおそれがあります。
❗	**煙が出ていたり、異臭がする場合は、すぐに蓄電システム用分電盤の蓄電システム用ブレーカとリモコンの電源スイッチを「OFF」にする** ・そのまま使用する場合は、火災のおそれとなります。お買い上げの販売会社にご連絡ください。
❗	**取付工事･修理･移動･再設置･破棄はお買い上げの販売会社に依頼する** ・依頼しない場合は、感電･火災のおそれがあります。 ・依頼しない場合は、保証対象外となります。

⚠注意	
⊘	**点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない** ・蓄電池が充電されず、使用できなくなる可能性があります。
⊘	**高圧洗浄機で本体を洗浄しない** ・内部に水が浸入し故障のおそれがあります。
⊘	**リモコンをぬれた手でふれたり、ぬれた布でふかない** ・感電･故障のおそれがあります。
⊘	**通気口などに物(金属、紙)を差しこんだり中に入れたりしない** ・故障のおそれがあります。

取扱い上のお願い

■ 正常な動作が保証されないため、次のような場所には取付けない

蓄電池ユニット、パワーコンディショナ

- □ 標高1500m より高いところ
- □ 重塩害地域
- □ 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- □ 振動、衝撃の影響が大きいところ
- □ 油蒸気、結露および氷結のあるところ
- □ 浸水のおそれがあるところ
- □ 電界、磁界の影響が大きいところ
- □ 直射日光が当たるところ
- □ 風通しが悪いところ
- □ 設置スペースまたは外寸法を確保できないところ
- □ 次の温度範囲外のところ
  周囲温度：−20℃～+40℃
  ※上記温度範囲外のところでは、動作を停止します
  温度が範囲内に戻れば自動復帰します

リモコン、通信モデム

- □ 屋外
- □ 温度変化が激しいところ
- □ 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- □ 振動、衝撃の影響が大きいところ
- □ 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ
- □ 電界、磁界の影響が大きいところ
- □ 直射日光が当たるところ
- □ 次の温度範囲外のところ
  周囲温度：0℃～+40℃
- □ 電波干渉、電波障害の影響を受けるところ

■ 騒音について厳しい制約をうける場所には設置しない

- 運転時はファンなどの動作音が発生します。
- 運転時の動作音はまれに、聴覚感覚が高い方にとって不快に感じることがあります。
- 壁の構造により動作音が壁内で増幅されたり、離れた場所に音が伝わり聞こえる場合があります。
  また、窓付近への設置は動作音が気になる場合があります。

■ 非常時兼用コンセントには合計で 20A（目安1500W）以上の機器や突入電流が大きな機器を接続しない

- 機器故障のおそれがあります。

■ 通気口が荷物や積雪で塞がらないようにする

- 温度上昇によりエラー停止する可能性があります。

■ 通信モデムをハウスマイルネットワークに接続する目的以外には使用しない

- 回線への悪影響などが検出された場合、予告なく回線提供者により強制停止されることがあります。

■ 装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない

- テレビ画面が乱れることや、ラジオに雑音が入ることがあります。3m以上離してご使用ください。
- 電波の受信が弱い場所では電波障害を受けるおそれがあります。

■ インターネットにつながらない環境で使用しない

- 通信モデムはauの4G LTEサービスエリア外では、使用できません。また、4G LTEサービス終了後はインターネット接続できなくなります。
- 通信モデムの設置環境によってはインターネット接続できない場合があります。
- 通信モデムによるインターネット接続ができない場合は、有線LANによりお客様のインターネット環境をご使用ください。

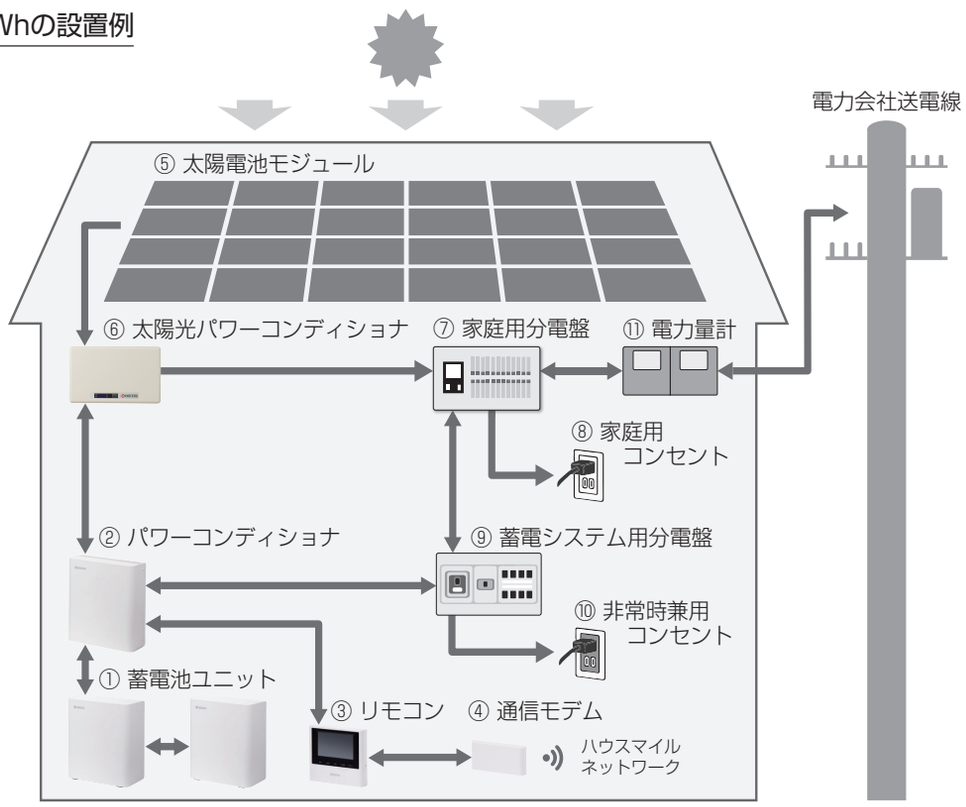
■ シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない

- 装置の変色・変形のおそれがあります。

蓄電システムの構成

蓄電システムは、もしもの非常時に生活に必要な電気を安心して利用できる他、住宅の屋根などに設置した太陽光発電の余剰電力や夜間の安価な電力を活用して、経済的に電気を利用できます。

定格容量10/11kWhの設置例



① **蓄電池ユニット**
電力を蓄えます。
蓄電池ユニットは最大3台まで接続できます。

② **パワーコンディショナ**
太陽光発電または系統の電力を蓄電池ユニットに充電し、必要に応じて放電します。

③ **リモコン**
表示画面を備えた操作パネルです。
充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

④ **通信モデム**
LTE通信により、蓄電システムのデータを当社サーバへ送信し、見守りします。また、ハウスマイルネットワーク※もご利用頂けます。

⑤ **太陽電池モジュール**
太陽光を受けて発電します。

⑥ **太陽光パワーコンディショナ**
太陽電池モジュールが発電した電力を、ご家庭で使える電力に変換します。

⑦ **家庭用分電盤**
契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、分岐ブレーカを内蔵しています。

⑧ **家庭用コンセント**
通常使用する一般的なコンセントです。

⑨ **蓄電システム用分電盤**
蓄電システム用ブレーカ、切替スイッチ、非常時兼用コンセント用ブレーカを内蔵しています。

⑩ **非常時兼用コンセント**
停電時も使用できる専用コンセントです。

⑪ **電力量計**
売電用と買電用の2種類があり、電力会社に売った電力（売電）と、買った電力（買電）を計量します。

※ ハウスマイルネットワークは、インターネットを使って自宅の電気使用状況が確認できるサービスです。
ログインに必要なゲートウェイ ID は、「停電時操作ご利用ガイド（別紙）」もしくは「機器情報（☞ 28 ページ）」をご確認ください。ご利用方法は下記 URL もしくは QR コードよりご確認ください。

https://www.kyocera.co.jp/solar/personal/support/hsnet/

蓄電システムの特長

■ もしもの停電時も「安心」！

もしもの停電時に、蓄電システムからの電力を非常時兼用コンセントから出力することができます。

- 雨や曇りの日・夜間の停電でも、蓄電池から電力を供給します。
- 太陽光発電と併用の場合、停電時の昼間は天候の変動時も停止なく連続して安定電源を確保できます。
- 非常時安心設定を行うことで、通常時もすべての電池を使い切らず、もしもの時に備えることができます。（☞20ページ）
- 停電時に冷蔵庫、テレビ、携帯電話、ノートパソコン、LED照明など必要最低限の家電製品を約19時間※動かすことができます。

  ※ 初期状態の10kWhシステムで太陽光発電電力がない場合、非常時兼用コンセントに約430Wの家電製品を接続した場合の目安です。

■ いつもの生活では「節電」！

系統電力と連系して、電力需要の少ない深夜電力を蓄電池に充電し、充電しておいた電力は、朝・夕の電力使用ピーク時に効率よく利用できるので、電気料金の節約になります。
日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。
また、おまかせ運転をご利用いただくことで、家庭内の状況に応じて自動的に充放電を行い、効率的なエネルギー利用に貢献することができます。（☞18ページ）

■ リチウムイオン電池搭載

定格容量 5/10/15kWh、5.5/11/16.5kWh のリチウムイオン電池※1 を搭載しています。

本製品のリチウムイオン電池は世界初※2 のクレイ型蓄電池で、安全性、長期信頼性に優れています。

※ 1 設置された蓄電池ユニットの台数によって異なります。
5/5.5kWh は蓄電池ユニット 1 台設置、10/11kWh は蓄電池ユニット 2 台設置、
15/16.5kWh は蓄電池ユニット 3 台の場合となります。
実際の使用できる容量の目安は、初期状態で上記定格容量の約 80%が目安となります。
放電する電力により効率が変わるため運転状態によっては、その値を下回る場合もあります。
低温時は充放電電力が抑制される場合があります。

※ 2 クレイ型蓄電池として（2019年11月京セラ調べ）

■ ライフスタイルの変化に合わせて蓄電池容量の増設が可能

初回設置後 2 年以内※3 であれば、蓄電池ユニットの増設が可能です。

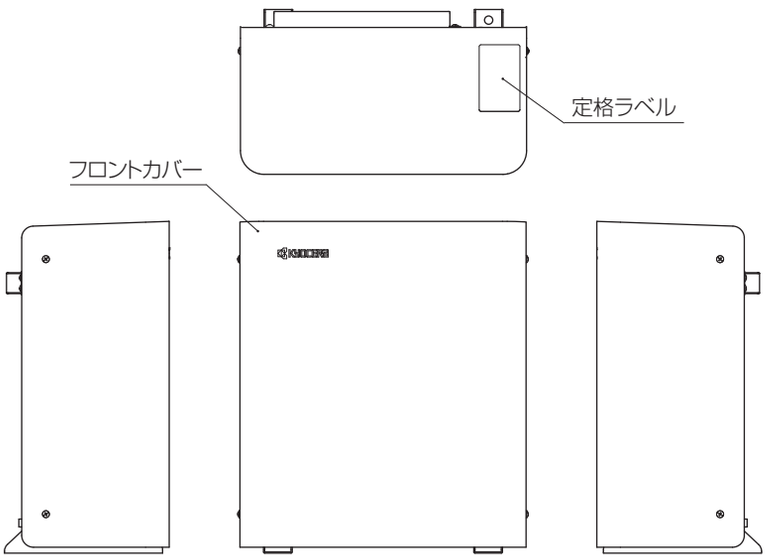
1 台増設：5/5.5kWh → 10/11kWh、10/11kWh → 15/16.5kWh

2 台増設：5/5.5kWh → 15/16.5kWh

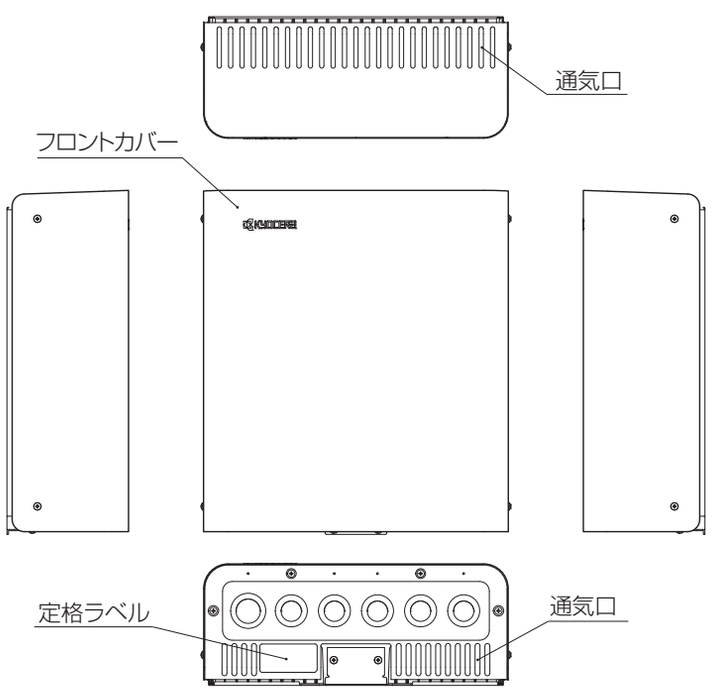
※ 3 初回設置とは系統連系日を指し、2 年以内とは系統連系日を起算として 730 日以内を指します。
蓄電池ユニットの増設は、在庫がある場合に限ります。
LBS-0500 と LBS-0550 の組み合わせはできません。

各部の名称

蓄電池ユニット



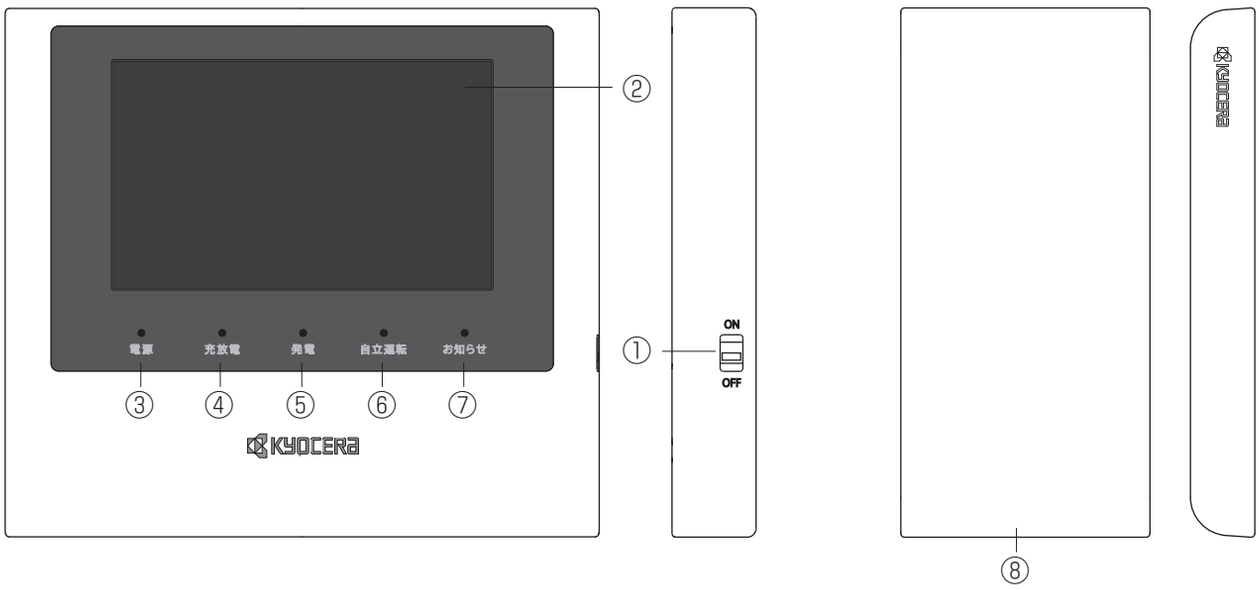
パワーコンディショナ



- 蓄電池ユニットおよびパワーコンディショナのフロントカバーは開けないでください。
  感電のおそれがあります。
- 蓄電池ユニット本体とフロントカバーの間には数mm程度隙間が生じる場合がありますが、
  防水性能に影響はありません。
- パワーコンディショナの通気口を塞がないでください。
  温度上昇し、出力抑制および自動停止するおそれがあります。

リモコン

リモコンの本体について



① 電源スイッチ	システムの電源スイッチです。
② 画面	表示画面を兼ねたタッチパネルです。 太陽光発電電力、充電・放電電力の表示や各運転モードの設定が行えます。
③ 電源ランプ	電源 ON 時に緑点灯します。
④ 充放電ランプ	運転状態にあわせてオレンジ / 緑で点灯します。 充電中：オレンジ 放電中：緑 待機中、停止中：消灯
⑤ 発電ランプ	太陽光発電中に緑点灯します。
⑥ 自立運転ランプ	停電時の自立運転中に緑点灯します。
⑦ お知らせランプ	エラー発生状態に合わせて緑点灯 / 緑点滅 / 赤点滅します。
⑧ 通信モデム	LTE 通信によりハウスマイルネットワークに接続します。

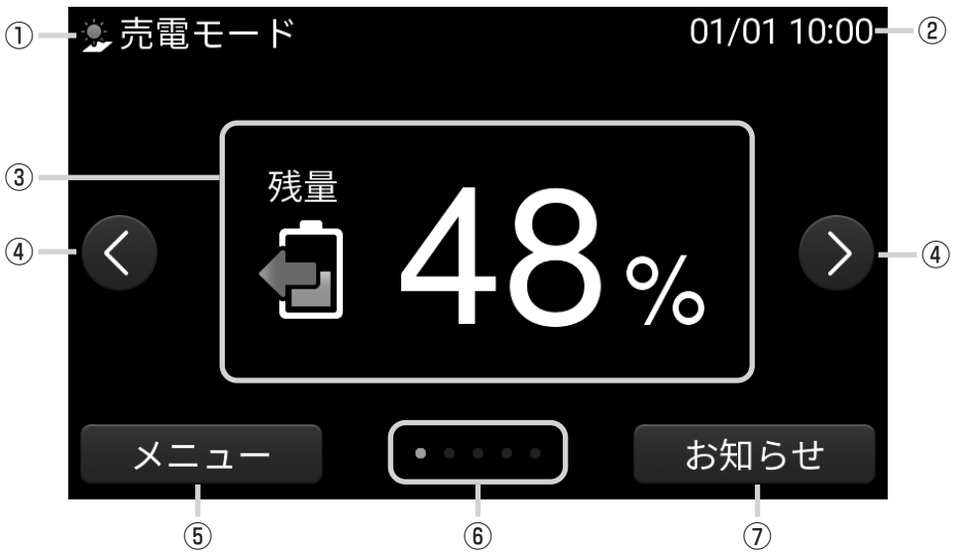
警報ブザー内蔵
エラー発生時、エラーの種類によってはリモコン内部の警報ブザーが鳴ることがあります。

リモコン側面の電源スイッチをOFFにすると、蓄電システムが停止します。
通常時はOFFにしないでください。

リモコンの表示について

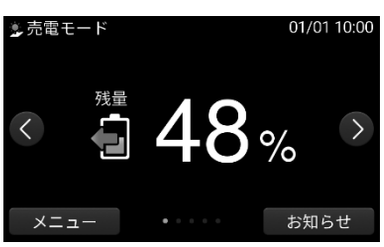
この製品は、リモコンの画面をタッチして操作を行います。

■ トップ画面



① 運転モード	運転モードを表示します。
② 現在日時	現在日時を表示します。
③ 各種情報	A. 蓄電池残量、B. 蓄電池充放電、C. 太陽光発電、D. 売買電、 E. 電気の流れ画面を表示します。
④ 切換ボタン	各種情報画面を切り替えます。
⑤ メニュー	メニュー画面を表示します。
⑥ ロケーター	表示されている画面の種類（A～E）を表示します。
⑦ お知らせ	お知らせ画面を表示します。

各種情報画面



A. 蓄電池残量



B. 蓄電池充放電



C. 太陽光発電



D. 売買電



E. 電気の流れ

■ 各種情報の表示内容

【A. 蓄電池残量】

①蓄電池の残量を0～100%で数値表示します。

②蓄電システムの運転状態と蓄電池残量をアイコン表示します。

アイコン表示	状態説明
	充電中
	放電中
	待機中

蓄電池残量が100%～16%のときは緑色、
15%～1%のときは赤色で表示されます。

・蓄電池残量は、目安としてお使いください。蓄電池の状態により値が大きく変動することがあります。
また、蓄電池残量が100%と表示された状態で充電、0%と表示された状態で放電する場合がありますが、
蓄電池の基本特性によるもので故障ではありません。

・電力契約によっては、充電時間帯に他の家電製品（電気給湯器、床暖房など）を多く使っている場合、
充電できる電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。その場合は、電力契約の見直し
などをご検討ください。

【B. 蓄電池充放電】

① 蓄電システムの充電電力または放電電力
を数値表示します。
なお数値は目安です。

② 蓄電システムの運転状態をアイコン表示
します。



蓄電池充放電

【C. 太陽光発電】

併設された太陽光発電システムの情報を表示します。

① 発電電力（0.1kW以上）を数値表示します。
なお数値は目安です。

② 当日の積算発電量を数値表示します。
なお数値は目安です。

③ 太陽光発電システムの発電状態をアイコン表示します。

アイコン表示	状態説明
	発電中 太陽がオレンジ色で表示されます ※発電電力が0.1kW以上の場合
	停止中もしくは太陽光発電が無い場合 太陽が灰色で表示されます



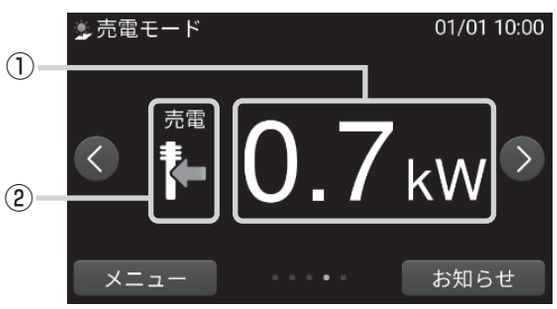
太陽光発電

【D. 売買電】

① 電力会社に売った電力（売電）と、買った電力（買電）を数値表示します。
なお数値は目安です。

② 電力会社からの売買電状態をアイコン表示します。

アイコン表示	状態説明
	売電中
	買電中
	売電/買電なし

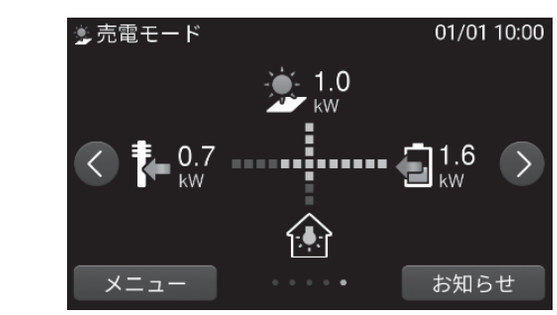


売買電

【E. 電気の流れ】

・電力会社からの売買電・太陽光発電・家庭内の消費・蓄電システム間の電力の流れのイメージを、破線の動きと流れる方向で表示します。

アイコン表示	状態説明
	家庭内の消費あり ・消費電力が0.1kW以上の場合は電球が黄色で表示されます
	家庭内の消費なし ・電球が灰色で表示されます



電気の流れ画面

※ 電力が小さい（0.1kW未満）場合でも、センサの誤差などにより、電力の流れが表示される場合があります。

※ 燃料電池などの発電装置が設置されている場合、電力の流れや値を正しく表示できない場合があります。

※ 自立運転時は、非常時兼用コンセントの消費量を放電電力として表示します。

※ 放電中でも買電する場合があります。（☞35ページ）

■ メニュー画面



設定	設定画面を表示します。
機器情報	機器情報画面を表示します。
運転停止 / 運転開始	運転を停止させます。 運転停止時は、運転を開始させます。

■ 設定画面

設定画面①～③は右側の▲▼でページが切り替わります。



「設定」画面①



「設定」画面②



「設定」画面③

①	**運転モード**	運転モードの選択画面を表示します。 選択された運転モードは緑色で表示されます。
	充電時刻	充電の開始時刻・停止時刻の設定画面を表示します。
	放電時刻	放電の開始時刻・停止時刻の設定画面を表示します。
	非常時運転モード	非常時運転モードの設定画面を表示します。
	非常時安心設定	非常時安心設定の設定画面を表示します。 非常時のために残しておく蓄電池の残量を設定します。
②	**現在日時**	現在日時の設定画面を表示します。
	画面の明るさ	タッチパネルの明るさの設定画面を表示します。
	画面オフ時間	タッチパネルを操作していないときに、画面が消灯するまでの時間の設定画面を表示します。
	操作音	画面操作音の設定画面を表示します。
	ネットワーク	ネットワークの設定画面を表示します。（通常時は使用しません。）
③	**アンペアブレーカ値**	アンペアブレーカ値の設定画面を表示します。（通常時は使用しません。）

※ アンペアブレーカ値とは各電力会社と契約している契約容量です。
蓄電システムは電力会社からの購入電力が設定した契約容量（アンペアブレーカ値）を超えないように充電を制限します。

※ リモコンのソフトウェアバージョン、お客様のシステム構成、ご契約内容により設定項目が異なることがあります。
ソフトウェアバージョン 11.01.00 以降は、設定画面③に「設定リセット」が追加されます。

通常時の使い方（連系運転）

運転モードを設定する

運転モードの種類について

設置時に設定した押し上げ設定「無」、「有」で選択できる運転モードが異なり、下表より選択できます。

押し上げ設定「無」	押し上げ設定「有」
グリーンモード	ー
フルグリーンモード	ー
売電モード	売電押上モード
強制充電モード	強制充電モード
待機モード	待機モード

※ フルグリーンモードは太陽光発電と連携している場合のみ表示されます。
※ 本製品はおまかせ運転モードに対応しています。（☞18ページ）

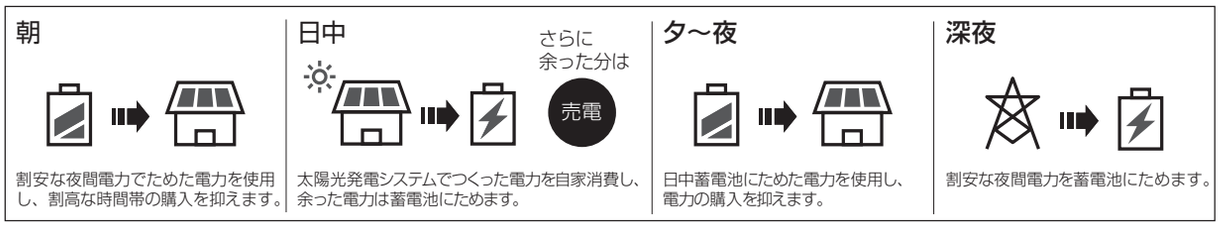
●押し上げ設定「無」の場合
昼間の使用電力は、太陽光発電から供給されます。不足分の電力は蓄電池から供給されます。

●押し上げ設定「有」の場合
昼間の使用電力は、蓄電池から供給されます。
その間に発電している太陽光発電は売電に回すことができます。

※ ソフトウェアのバージョン、お客様のシステム構成、ご契約内容によって選択できる運転モードが異なります。本書では、押し上げ設定「無」の場合を例にして説明しています。
※ 押し上げ設定の「無」、「有」は、電力会社との契約に基づき、設定しています。
押し上げ設定の変更を行う場合は、電力会社と再契約を行い、再工事する必要があります。
※ おまかせ運転を「有効」にしている場合、運転モードに「おまかせ運転」と表示されます。
運転モードを変更するとおまかせ運転が解除されます。

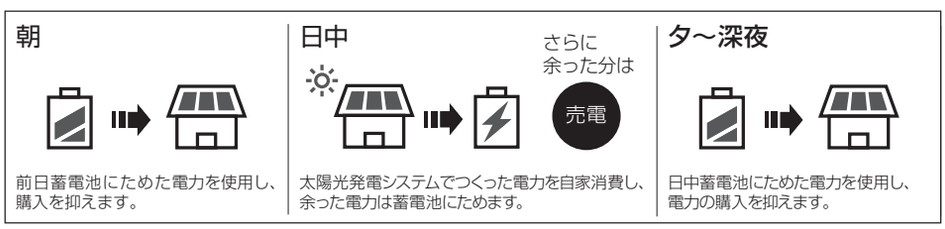
【グリーンモード】

割安な夜間電力を蓄電池に充電しつつ、日中に太陽でつくった電力の余剰分も蓄電池に充電します。



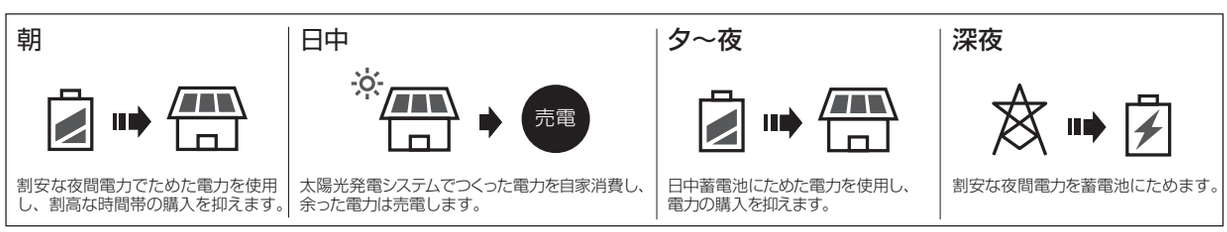
【フルグリーンモード】

日中に太陽でつくった電力の余剰分のみを蓄電池に充電します。



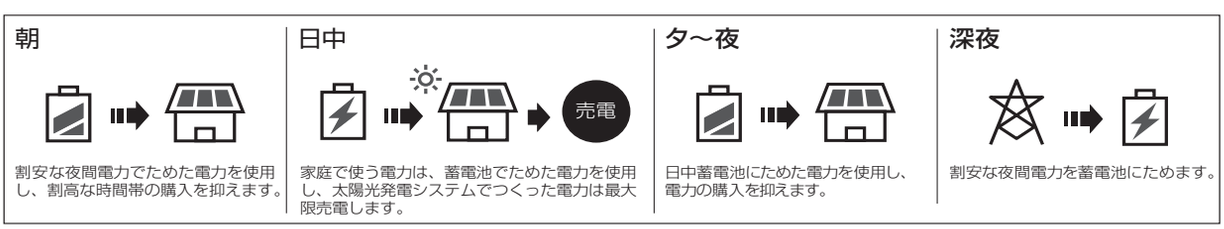
【売電モード】

割安な夜間電力を蓄電池に充電しつつ、日中に太陽でつくった電力の余剰分は売電します。



【売電押上モード】

割安な夜間電力を蓄電池に充電しつつ、日中に太陽でつくった電力を最大限売電します。



【強制充電モード】

設定した時間帯に関係なく、充電を行います。充電完了後は待機状態になり、放電を行いません。
災害の備え等で充電のみを行いたい場合に設定します。
充電には太陽光発電システムでつくった余剰電力及び電力会社から購入した電力を使用します。

【待機モード】

時間帯に関係なく、充放電を行わないモードです。
充放電を止めたい場合に設定します。通常は使用しません。

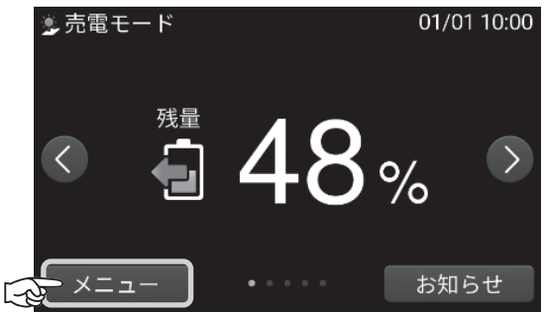
※太陽光発電の余剰充電
一定時間、売電が 300W を超えた場合に、蓄電池が充電可能な範囲で売電 100W を目指して充電を行います。
※蓄電池からの放電
一定時間、買電が 300W を超えた場合に、蓄電池が放電可能な範囲で買電 100W を目指して放電を行います。
※充放電時刻により動作は異なります。

運転モード / 充放電時刻の設定方法

1

設定情報画面に切り替える

トップ画面で「メニュー」をタッチし、メニュー画面に切り替えた後「設定」をタッチします。





2

運転モード設定画面に切り替える

設定画面で「運転モード」をタッチします。



3

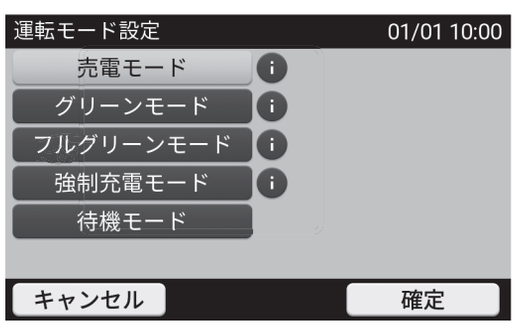
運転モードを選択する

設定したい運転モードを選択し、「確定」をタッチします。

ⓘをタッチすると、運転モードの説明が表示されます。

※待機モードは通常使用しません。

※画像は押し上げ設定「無」の場合



4

充電時刻設定画面、放電時刻設定画面に切り替える

設定画面で「充電時刻」「放電時刻」をタッチします。



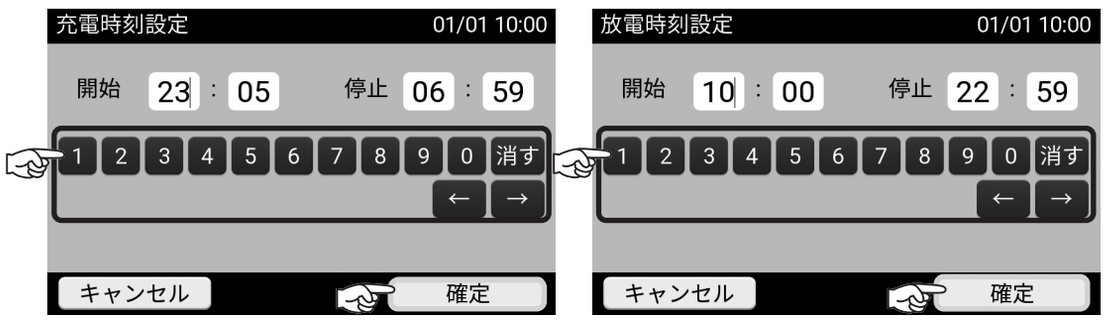
※運転モードがフルグリーンモードの場合、「充電時刻」の設定はできません。
また、放電開始時刻と放電終了時刻は3分以上の間隔をあけてください。



5

充放電開始時刻と停止時刻を設定する

・変更したい数字のところに「←」「→」ボタンでカーソルを移動し、数字を消去・入力します。
　時刻は 24 時間表記にしてください。
・時刻入力後、「確定」をタッチします。



※工場出荷時の設定は次のとおりです。
「充電開始時刻 / 停止時刻」：23 時 05 分～ 6 時 59 分
「放電開始時刻 / 停止時刻」：10 時 00 分～ 22 時 59 分

・１週間以内を目安に満充電になるように充電時刻設定を行ってください。
　長期間満充電にならない場合、蓄電池の使用可能量が減少する可能性があります。
・充電目安時間は5/5.5/10kWhシステムで約4時間、11kWhシステムで約4.5時間、15/16.5kWhシステムで約6時間です。
　また、低温時は充電時間が10時間以上かかる場合があります。
・グリーンモードの充電時間は電力会社から買電して充電する時間の設定になります。
　グリーンモードでは、太陽光発電の余剰がある場合は設定時間によらず充電します。
・HEMS機器など制御機器に接続した場合、制御方法によっては満充電にならない場合があります。

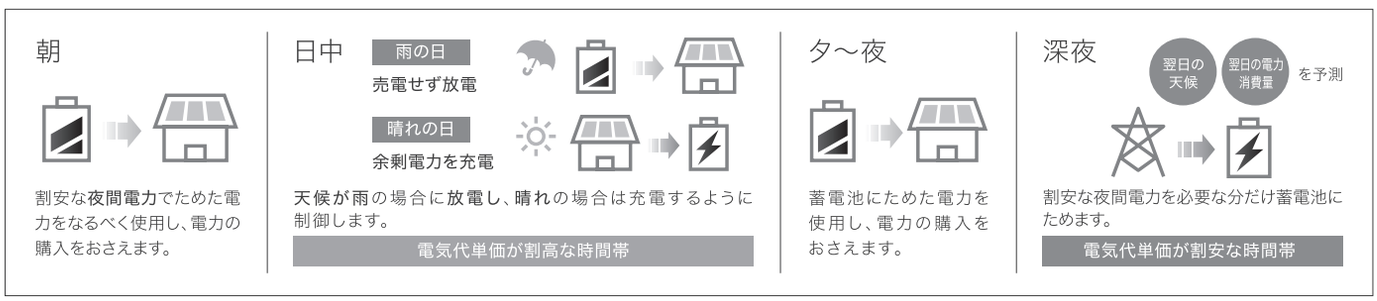
充放電を一時的に止める場合

故障以外に、充放電を止めたい場合は、「待機モード」を選択してください。
充放電を再開したい場合は、「グリーンモード」などの運転モードを選択してください。
設定方法は、「運転モード / 充放電時刻の設定方法」（☞ 16 ページ）を参照してください。

※「待機モード」選択時でも、蓄電池の過放電を防ぐため、自動的に充電する場合があります。

おまかせ運転モード

おまかせ運転モードとは、天気予報や家庭内の電気の使い方から、太陽光発電システムによる発電量や余剰電力量などを計算し、蓄電システムの充放電やエコキュートの運転計画をたて、自動制御するモードです。さらに、運転状況によって、計画を補正することでより効率的なエネルギー利用の実現に貢献します。



おまかせ運転中はリモコン画面の現在の運転モードの表示位置に「おまかせ運転」と表示されます。



おまかせ運転モードの設定方法

おまかせ運転モードのご利用にはハウスマイルネットワークでの設定が必要です。
また、おまかせ運転モードのご利用にはお客様情報（郵便番号による天気情報、電力プラン、売電単価）の設定が必要となります。ご利用方法は下記 URL もしくは QR コードよりご確認ください。

https://www.kyocera.co.jp/solar/personal/support/hsnet/

※ おまかせ運転モードには「標準」と「ピークカット」の二つの充電方式があります。「ピークカット」の場合、ピークが立たないよう分割充電を行うため、料金プランの状況（電気料金の最も安い時間帯が非常に短いなど）や充電時間帯に消費電力が多い場合、蓄電池の状態により、満充電にならない可能性があります。その場合は、おまかせ運転モードを「標準」にすることをおすすめします。たとえ、「標準」の場合でも給湯器の沸き上げや消費電力があまりに大きい場合は必ずしも満充電にならない場合があります。

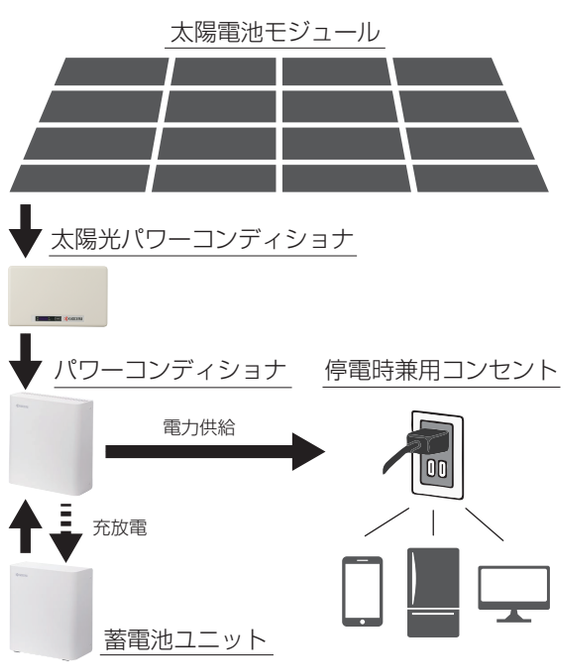
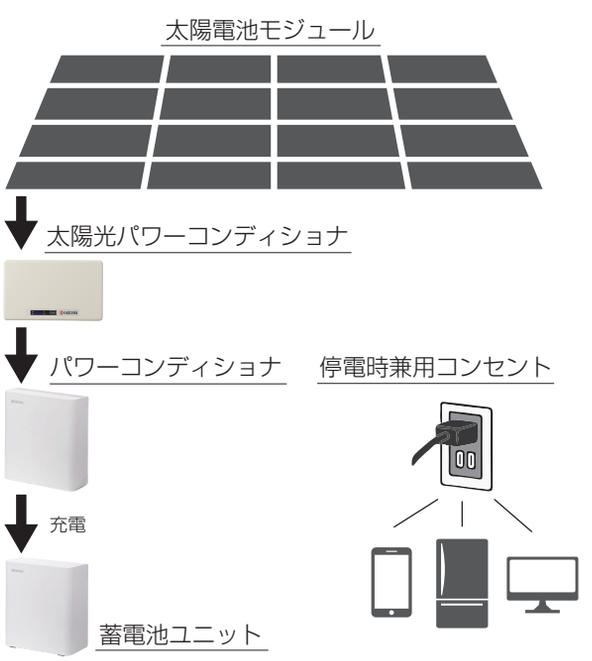
※ 押し上げ設定「有」の場合にはおまかせ運転モードはご利用いただけません。
※ おまかせ運転は、お客様の電気使用状況や発電電力の状況を学習し、接続された対応機器の運転動作の判定を行います。そのため、おまかせ運転が開始するまで最長 48 時間かかることがあります。
※ 電力プランや家庭内の状況に応じて、接続された対応機器の制御を自動的に行いますが、機器の種類や組み合わせ、お客様の電気使用状況、発電電力の状況、天候の変化などによっては、必ずしも適した制御が行われない可能性があります。また一日の電気料金単価が一律の電力プランの場合は、蓄電池の充放電が行われないことがあるため、おまかせ運転はご利用できません。別の運転モードを選択するか、電力プランの見直しをご検討ください。
※ おまかせ運転中はリモコンから設定した運転モード、充放電時刻によらず自動制御します。
※ おまかせ運転中にリモコンから運転モードを変更するとおまかせ運転が解除されることがあります。
※ ハウスマイルネットワークの設定に誤りがある場合は、正しく運転ができませんのでご注意ください。
※ ハウスマイルネットワーク上で「おまかせ運転モード」を設定しても、通信タイミングにより、設定反映に時間（約 10 ～ 20 分）がかかります。
※ インターネット接続に障害がある場合や不安定な場合は、制御対象の蓄電池や給湯器はおまかせ運転では動作せず、元の運転モードで動作することがあります。
※ おまかせ運転モードでは、充電のために買電を行うことがあります。太陽光発電の余剰電力のみで充電を行いたい場合には、おまかせ運転モードを使用せずフルグリーンモードにしてください。

停電時の使い方（自立運転）

非常時運転モード / 非常時安心設定を設定する

・工場出荷時の設定は次のとおりです。
「非常時運転モード」: 自動モード
「非常時安心設定」 : OFF

非常時運転モードの種類について

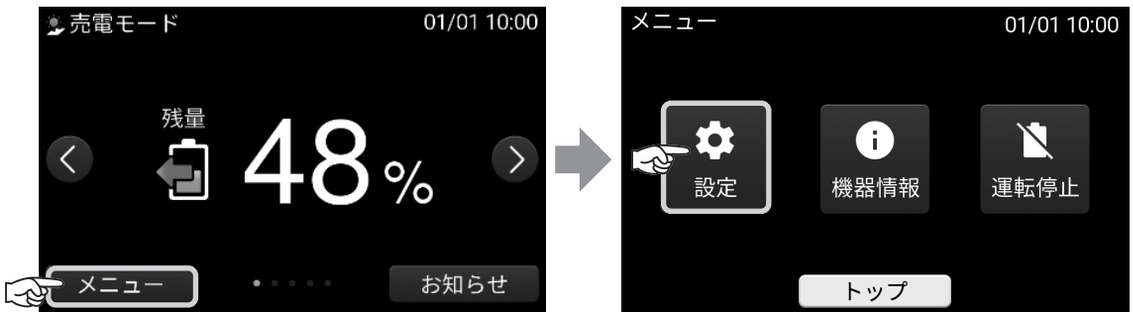
自動モード	待機モード
蓄電池と太陽光発電から非常時兼用コンセントへの電力給電を行います。 太陽光の電力を優先して給電し、足りない電力を蓄電池から補います。また、太陽光の電力に余剰がある場合は、自動的に充電を行います。なお、太陽光の電力はお客様のシステムに合わせて工事時に設定された電力(最大 1.5 ｋW,推奨 1.0 ｋW)を上限として使用できますが、太陽光の電力が設定された電力を下回ると太陽光発電は停止します。	非常時兼用コンセントへの電力供給は行いません。 太陽光の電力は蓄電池へ充電します。
	

非常時運転モード / 非常時安心設定の設定方法

1

設定情報画面に切り替える

トップ画面で「メニュー」をタッチし、メニュー画面に切り替えた後「設定」をタッチします。



2

非常時運転モード画面に切り替える

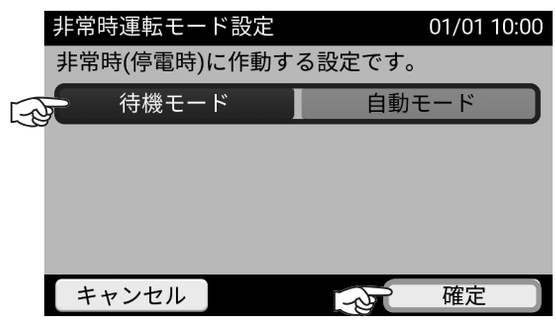
設定画面で「非常時運転モード」をタッチします。



3

非常時運転モードを選択する

設定したい運転モードを選択し、「確定」をタッチします。



4

非常時安心設定画面に切り替える

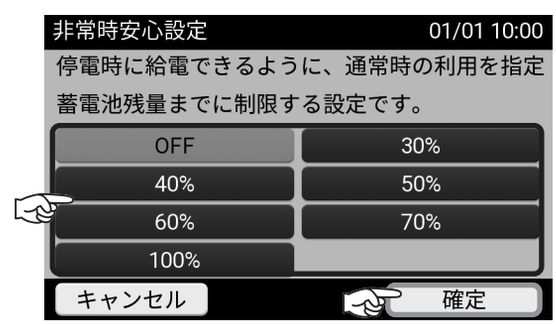
設定画面で「非常時安心設定」をタッチします。



5

非常時安心設定を選択する

OFF/30%/40%/50%/60%/70%/100%から選択し、「確定」をタッチします。
停電時に非常時兼用コンセントへ放電できるように、通常時の利用を指定蓄電池残量までに制限する設定です。
指定蓄電池残量を下回ると放電を停止します。

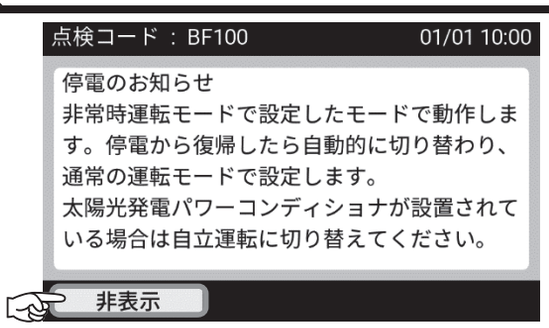


停電発生時の操作

停電が発生した場合、本蓄電システムの特別な操作は必要ありません。
自動で停電モードに切り替わり、給電します。
本蓄電システムと太陽光パワーコンディショナを連携するには、
太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、停電直後、停電復帰直後は操作してください。

停電を検知すると画面に点検コードが表示され、自立運転に切り替わり、自立運転ランプが緑に点灯します。
「非表示」をタッチすると、元の画面に切り替わります。

自立運転中に運転停止させないでください。
一度、運転を停止すると、太陽光発電システムからの電源供給が開始されるか、停電復帰するまでは、運転を再開することができません。
以下のいずれかの操作で蓄電システムは運転停止となりますので、ご注意ください。
・リモコン本体の電源スイッチを OFF する
・メニュー画面から「運転停止」をタッチする



停電発生時



自立運転中

蓄電システム用分電盤の切替スイッチが「蓄電」側になっていることをご確認ください。「系統」側になっている場合は「蓄電」側に切り替えてください。停電が発生した場合、太陽光発電ブレーカを「OFF」にし、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を自立運転に切り替えてください。
※ 切替スイッチが「系統」側の場合、停電時は非常時兼用コンセントには電気が供給されません。
※ 蓄電システム用分電盤の状態に関しては「長期不在の場合」(☞30ページ)を参照ください。
自立運転時は、非常時兼用コンセントの消費を放電電力として表示します。また、蓄電池から放電している場合、現在の放電電力から運転継続時間の目安を10分単位で表示します。この表示される値を目安として家電製品をご利用ください。





※ 太陽光パワーコンディショナからの自立出力は表示されません。
※ 太陽光パワーコンディショナに「E0」あるいは「STOP」などの点検コードを表示する場合があります。その場合は、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を再度、自立運転に切り替えてください。
※ 運転継続時間はおおよその目安です。使用環境や使用される家電製品により表示されている時間と実際の運転時間に差が生じる場合があります。
※ 非常時兼用コンセントの消費電力が小さい（0.1kW 未満）場合や、太陽光パワーコンディショナからの自立出力を蓄電池へ充電している場合、運転継続時間は表示されません。

停電復帰時の操作

停電から復帰した場合、本蓄電システムに特別な操作は必要ありません。

※ 電力会社との協議で定められた時間内（最大300秒）は、停電復帰しても「準備中（パワーコンディショナ停止状態）」になります。
リモコン画面に表示された待機時間を経過すると、通常時のモードで動作します。
※ 停電時に蓄電システム用分電盤の切替スイッチを操作した場合は、切替スイッチを元に戻してください。
※ 太陽光パワーコンディショナの自立出力を切り替えた場合は、太陽光発電ブレーカを「ON」にし、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を連系（通常）運転に戻してください。

停電時の家電製品利用に関するご注意

自立運転時の非常時兼用コンセントへの定格出力は、20A※1（目安：1500W）です。
電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、定格出力20Aを超える電流が流れると、内部の安全装置が作動し、リモコンにメッセージを表示して、非常時兼用コンセントへの給電を停止します。
下記の家電製品の非常時兼用コンセントへの接続は避ける、または注意してください。

生命にかかわる家電製品	接続禁止	医療機器など
途中で電源が切れると不具合を生じるおそれがある家電製品	接続禁止	デスクトップ型パソコンなど
瞬間的に大電流※2を必要とする家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、冷蔵庫、エアコン、ポンプなど
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブなど

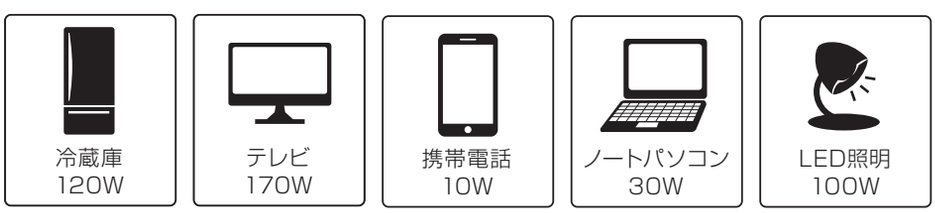
※1 お客様の設置環境によっては、非常時兼用コンセント以外の家電製品に給電するため、非常時兼用コンセントの出力は20Aより少ないことがあります。
※2 瞬間的に75Aピークを超える電流
※ 消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らすなど、非常時兼用コンセントの定格出力を超えないように工夫してください。家電製品によっては、自動的に運転を開始するものがありますので、ご注意ください。
※ もし、安全装置が作動してしまった場合は、リモコンのメッセージに従って、接続している家電製品の数を減らしてください。

●その他、安定的、安全に自立運転を行うために、下記の点にご注意ください。

・突入電流が大きく、消費電力が比較的大きな機器を接続すると、起動時または一定の周期で瞬間的に大電流が流れ、蓄電池の電力供給能力を超えてしまいます。そのとき他の家電製品が停止したり、蓄電システムの安全装置が作動し、非常時兼用コンセントへの給電を停止する場合があります。

■停電時に使用する家電製品の設置例（10kWhの場合）

満充電の場合、停電時に冷蔵庫、テレビ、携帯電話、ノートパソコン、LED照明など、必要最低限の家電製品（約430W）を約19時間※動かすことができます。



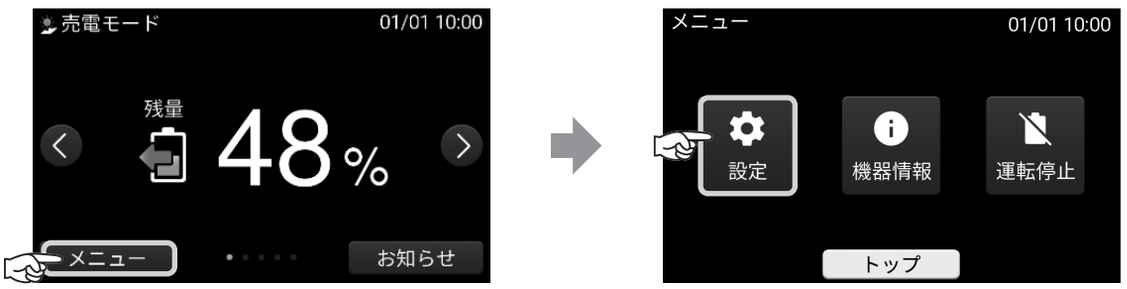
※ おおよその目安です。実際のご利用では蓄電池の充電量、使用環境で変わります。

画面の明るさや操作音などの設定を変更する

1

設定画面に切り替える

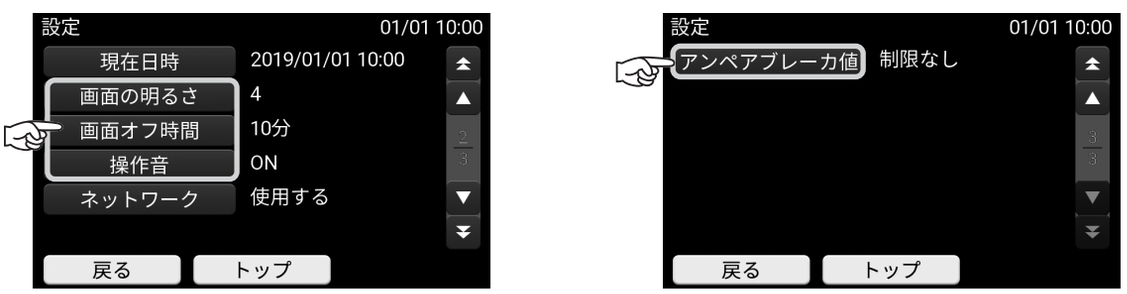
トップ画面で「メニュー」をタッチし、メニュー画面に切り替えた後「設定」をタッチします。



2

各設定画面に切り替える

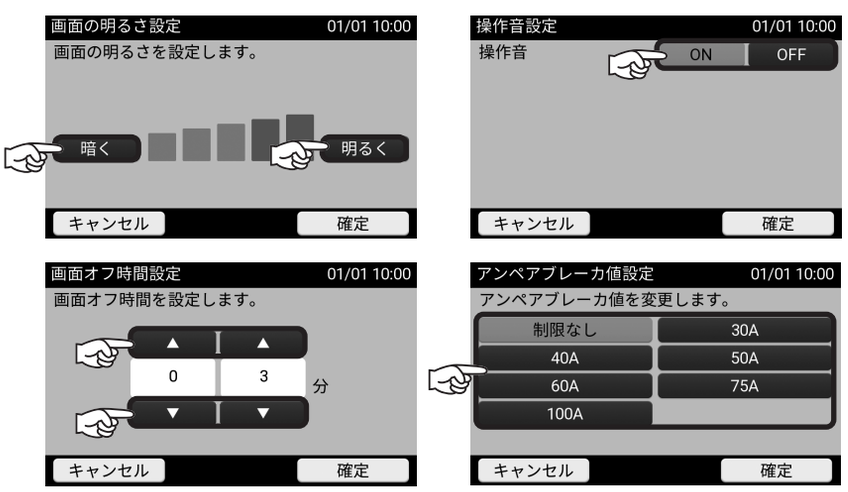
画面右側の▲▼でページを切り替え、設定したい項目をタッチします。



3

設定を変更する

設定を選択し「確定」をタッチします。



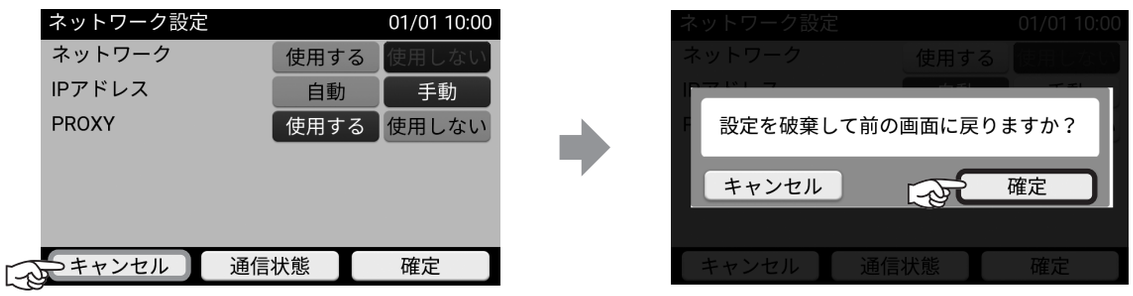
画面の明るさ	タッチパネルの明るさを 1 ～ 5 の5段階で設定できます。
画面オフ時間(分)	タッチパネルを操作していないときに、画面が消灯するまでの時間を1～10分の10段階で設定できます。
操作音	画面操作音の ON/OFF を設定できます。
アンペアブレーカ値	電力会社との契約容量に合わせて設定してください。契約容量と同じ値がない場合は、契約容量よりも小さな直近の値を選択してください。アンペアブレーカが無い場合は「制限なし」を選択してください。 ※通常はお客様に変更していただく必要はありません。

ネットワークの設定

※ ネットワーク設定はお客様に変更していただく必要はありません。
間違って設定変更されると、ハウスマイルネットワークとの通信が出来なくなってしまいます。

誤ってネットワーク設定画面に入った場合

「キャンセル」をタッチして、次の画面で確定を選択して設定画面に戻ります。



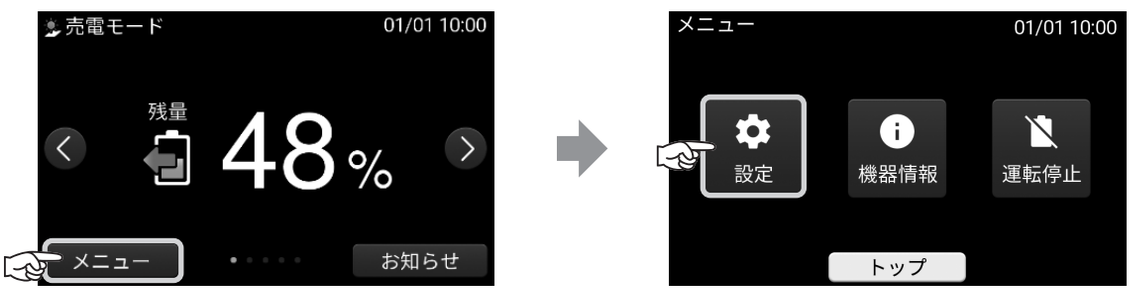
「トップ」をタッチし、トップ画面に戻ります。

ネットワークの通信状態を確認する場合

1

設定画面に切り替える

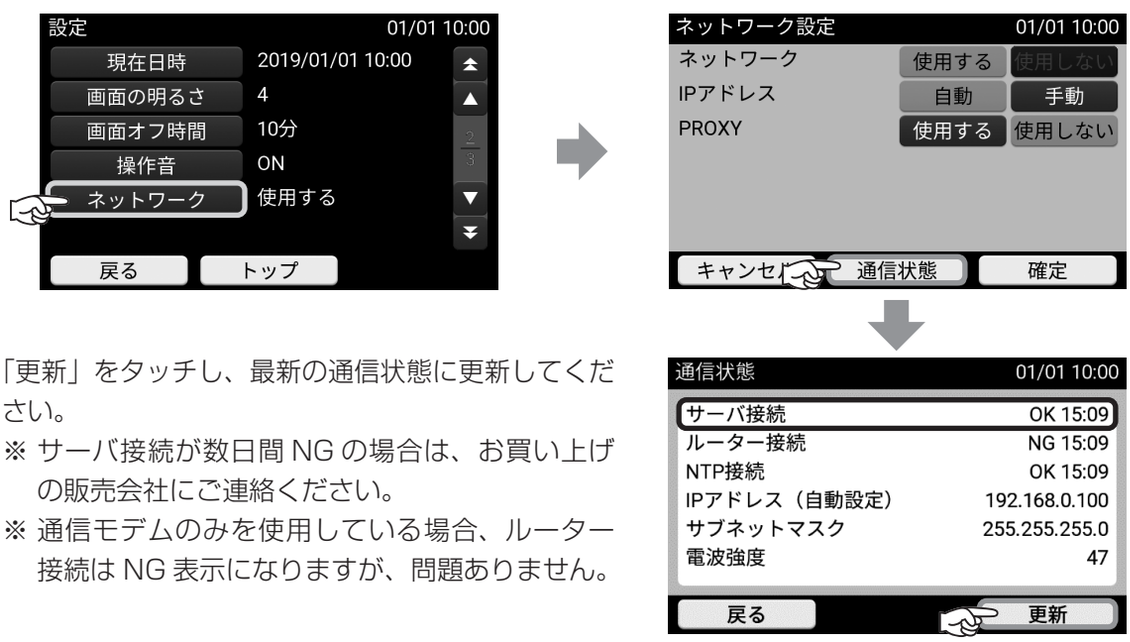
トップ画面で「メニュー」をタッチし、メニュー画面に切り替えた後「設定」をタッチします。



2

通信状態画面に切り替える

画面右側の▲▼でページを切り替え、「ネットワーク」をタッチし、ネットワーク設定画面に切り替えた後「通信状態」をタッチします。



「更新」をタッチし、最新の通信状態に更新してください。

※ サーバ接続が数日間 NG の場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

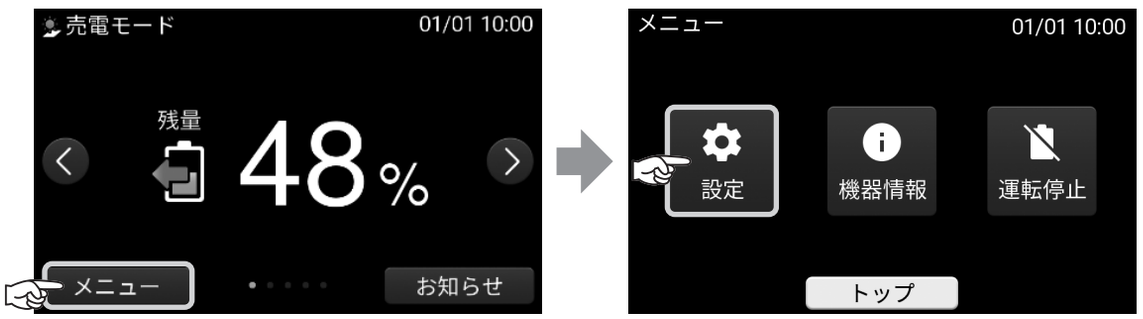
※ 通信モデムのみを使用している場合、ルーター接続は NG 表示になりますが、問題ありません。

日時の設定

現在日時はネットワークを介して自動的に補正されます。お客様に設定していただく必要はありませんが、手動で時刻の設定をすることも可能です。
現在日時に進みや遅れが生じると、電力会社との契約によっては、割高な電気料金で充電を行ってしまうなどの問題が発生します。

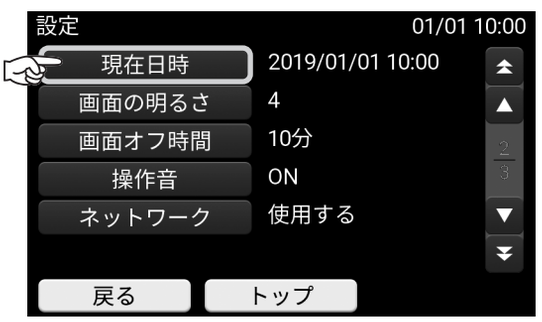
1

設定画面に切り替える
トップ画面で「メニュー」をタッチし、メニュー画面に切り替えた後「設定」をタッチします。



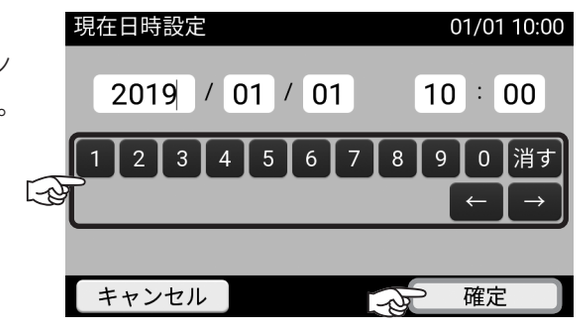
2

現在日時設定画面に切り替える
画面右側の▲▼でページを切り替え、
「現在日時」をタッチします。



3

現在日時を設定する
・変更したい数字のところに「←」「→」ボタンでカーソルを移動し、数字を消去･入力します。
・時刻入力後、「確定」をタッチします。

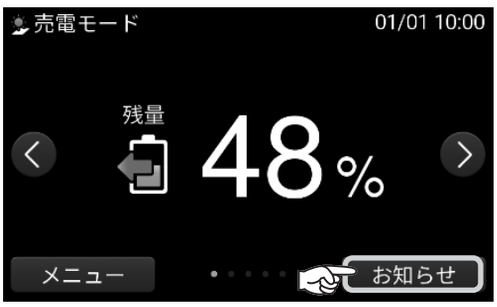


お知らせを確認する

お知らせがある場合は、お知らせランプが点灯・点滅します。

1

お知らせリストを表示する
トップ画面で「お知らせ」をタッチします。



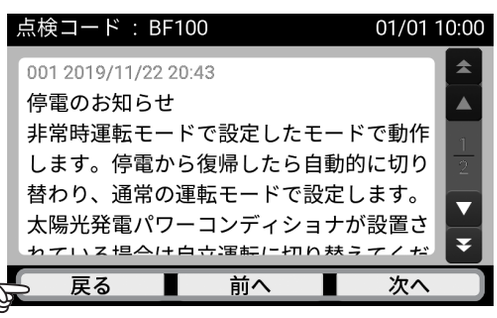
2

お知らせ画面から項目を選択する
リストの中で表示したい項目をタッチします。
未読のお知らせは白で、既読のお知らせはグレーで表示されます。
リストには、最大10件のお知らせが表示できます。
古い日付のデータから自動的に削除されます。



3

お知らせの内容を表示する
「戻る」をタッチするとお知らせ画面に戻ります。
「次へ」をタッチするとお知らせリストの上の項目へ、「前へ」をタッチするとお知らせリストの下の項目へ移行します。



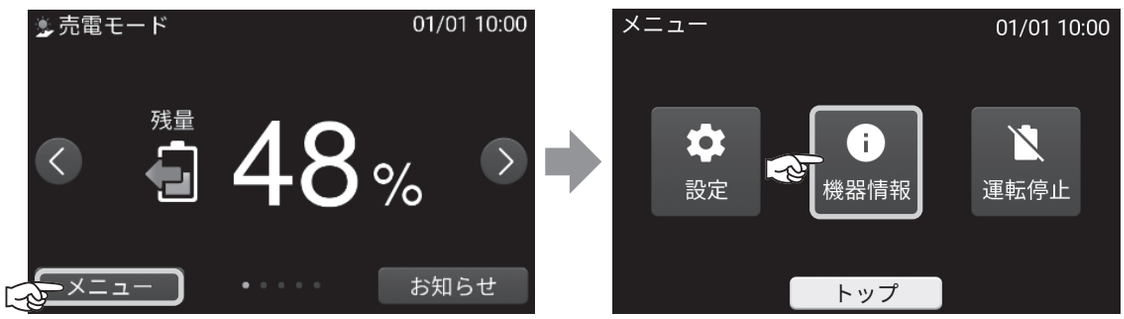
※ メッセージ内に「再起動をしてください」の記載があっても、お知らせ画面には再起動ボタンは表示されません。再起動ボタンはエラーメッセージ表示時（☞ 35ページ）に表示されます。

機器情報（ゲートウェイ ID など）を確認する

1

機器情報を表示する

トップ画面で「メニュー」をタッチし、メニュー画面を表示します。
メニュー画面で「機器情報」をタッチすると、機器情報の1ページ目（1/7画面）が表示されます。



2

機器情報のページを切り替える

「▼／▲」をタッチすると1ページずつ送り、
「⏫」をタッチすると1/7画面へ、
「⏬」をタッチすると7/7画面へ切り替わります。



※ 蓄電池ユニットが複数台設置されている場合、蓄電池ユニット２、蓄電池ユニット３に機器情報が表示されます。

こんなときは

ブザーが鳴ったとき

ブザーが鳴ったとき、またはお知らせランプが点滅しているときは、リモコンの画面に表示されるメッセージの内容に従って、処置してください。

製品から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジィージィー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。(運転開始時と、停止時に発生します)
ブーン音	ファンの音です。

● 運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。

アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合

アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合は、「画面の明るさや操作音などの設定を変更する」(☞24ページ)にしたがってアンペアブレーカ値の設定に間違いがないかご確認ください。設定に間違いがない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

契約容量を変更する場合

電力会社との契約容量を変更する場合は、「画面の明るさや操作音などの設定を変更する」(☞24ページ)にしたがってアンペアブレーカ値も変更してください。

非常時兼用コンセントのブレーカが頻繁に落ちる場合

非常時兼用コンセントのブレーカが頻繁に落ちる場合、接続している家電製品を減らすなど、定格出力を超えないように工夫してください。

非常時兼用コンセントが使用できない場合

過負荷でブレーカが落ちた可能性があります。ブレーカが落ちている場合は接続している家電製品を減らすなど、定格出力を超えないように工夫してください。
ブレーカが全て問題ない場合、リモコン画面にメッセージが表示されていないか確認してください。
点検コードが表示されている場合、メッセージおよび「エラーメッセージが表示されたとき」(☞35ページ)の処置に従ってください。家電の使用については「停電時の家電製品利用に関するご注意」(☞23ページ)を合わせてご確認ください。
また、停電時は蓄電池残量が0%で蓄電システムが給電できない可能性があります。
「停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合」(☞31ページ)に従ってください。
上記手順後に全く使用できない場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社にご連絡ください。

リモコンが動かなくなった場合

リモコンの画面をタッチしても反応しない場合は、リモコンの電源スイッチをOFFにし1分程度経過後、電源スイッチをONにしてください。
頻繁に発生するようでしたら、何らかの異常が考えられますので、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

リモコン画面が表示されない場合

- 停電状態以外で、リモコン画面が表示されない場合は、リモコンの電源スイッチが「OFF」になっているか、リモコンが故障している可能性があります。リモコンの電源スイッチが「OFF」の場合は、「蓄電システムを起動する場合」（☞ 33 ページ）に従ってください。それ以外の場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

- 停電状態で、リモコン画面が表示されない場合は、蓄電池残量がない場合も考えられます。
  下記「停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合」の処置を行ってもリモコン画面が表示されない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

満充電にならない場合

十分な充電時間を確保しているにも関わらず、満充電にならない場合は、蓄電池の温度により充電が抑制されていることがあります。
充電目安時間は5/5.5/10kWhシステムで約4時間、11kWhシステムで約4.5時間、15/16.5kWhシステムで約6時間ですが、低温時は充電時間が10時間以上かかる場合があります。

長期不在の場合

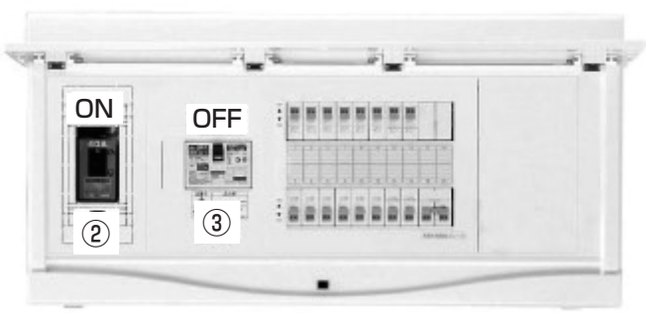
蓄電システム用分電盤の蓄電システム用ブレーカ①と家庭用分電盤の契約ブレーカ②は「ON」の状態で維持してください。自立出力 200V システムの場合は、専用の取扱説明書をご確認ください。

※ 非常時兼用コンセントに接続されている家電製品を含め、家電製品に電気を供給したくない場合は、家庭用分電盤内の主幹ブレーカ③を「OFF」に、切替スイッチ④を「蓄電」側から「系統」側に切り替えてください。

分電盤、ブレーカの配置例



蓄電システム用分電盤



家庭用分電盤

①：蓄電システム用ブレーカ
②：契約ブレーカ
③：主幹ブレーカ
④：切替スイッチ

※ 故障時以外は、蓄電システム用ブレーカ①、契約ブレーカ②および、主幹ブレーカ③を「OFF」にしないでください。長期間放置されると蓄電池が充電されないため、使用できなくなる可能性があります。
蓄電システム用ブレーカ①を「OFF」にしたまま、長期間放置される場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合には、蓄電システムが停止します。その場合、リモコン画面は真っ暗になり、画面をタッチしても何も表示されません。
停電状態で、リモコンの電源が入っていない場合は、下記の操作を行ってください。

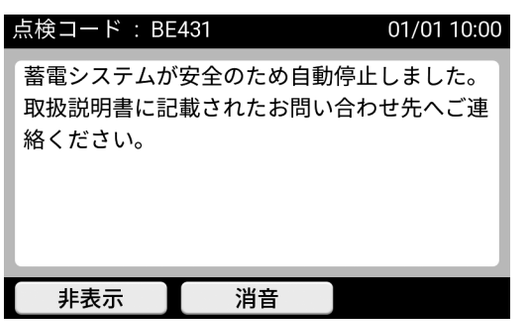
太陽光発電の自立運転が可能な場合

1. 太陽光発電ブレーカを「OFF」にし、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、自立運転に切り替えてください。
2. 太陽光パワーコンディショナから給電されると、リモコンが操作できるようになります。
   ※太陽電池容量や日射状況により、起動できない場合や停止する場合があります。
   また、太陽光パワーコンディショナの制御によっても起動できない場合があります。
3. 非常時運転モードを「自動モード」または「待機モード」にしてください。
4. 蓄電システムは太陽光パワーコンディショナからの給電後 3 分程度経過すると非常時運転モードで運転を開始します。
   「自動モード」の場合は、非常時兼用コンセントに出力可能ですが、蓄電池残量がなく、太陽光発電のみの電力供給となるため、給電が不安定になり定格電力を出すことができません。
   「待機モード」の場合は、非常時兼用コンセントに給電されませんが、太陽光発電の電力すべてを充電することができます。
   十分な充電が行えるまでは、「待機モード」でのご使用をおすすめします。
   なお、蓄電池残量がなくなった場合には蓄電池残量 0% から 1% までの充電に時間がかかります。

太陽光発電の自立運転ができない場合

停電中に運転することはできません。
停電復帰後、「運転モード/充放電時刻の設定方法」(☞16ページ）に従い、「グリーンモード」などを設定してください。
電池残量によっては、電池保護のため自動で充電を行います。

※ 蓄電池の過放電防止のために、充電時間帯以外でも充電することがあります。
※ 停電復帰し、日時がリセットされた場合には、「日時の設定」(☞26ページ）に従い、日時の設定を行ってください。
※ 停電状態が長かった場合、下記の画面が表示されることがあります。その場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。



蓄電システムを停止させる場合

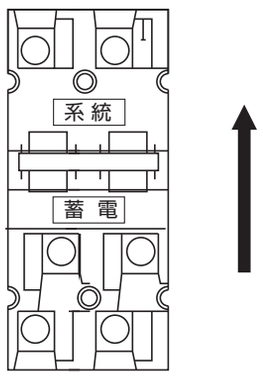
長期間放置されると、蓄電池が充電されずに使用できなくなる可能性があるため、通常は運転停止しないでください。自立出力200Vシステムの場合は、専用の取扱説明書をご確認ください。

故障時等で蓄電システムを停止するには、以下の手順で行ってください。

1 切替スイッチを「系統」側に切り替える

分電盤内の非常時兼用コンセント用の切替スイッチのレバーをあげて、「系統」側に切り替えます。

※ 切替スイッチが「蓄電」側の場合、蓄電システムが停止すると、非常時兼用コンセントには給電されません。必ず、「系統」側に切り替えてください。なお、切り替え時に非常時兼用コンセントに接続された家電製品への給電が一瞬、遮断されますので家電製品の電源を OFF にしてから切り替えを行ってください。



切替スイッチ

2 メニュー画面に切り替える

トップ画面で「メニュー」をタッチします。



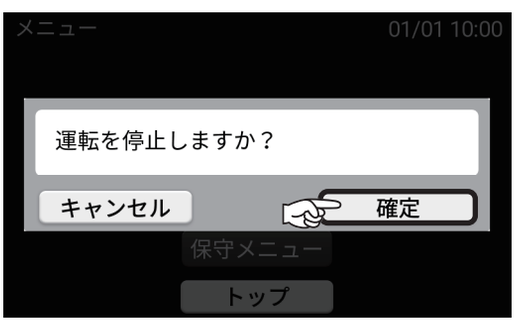
3 運転停止を選択する

メニュー画面で「運転停止」をタッチします。

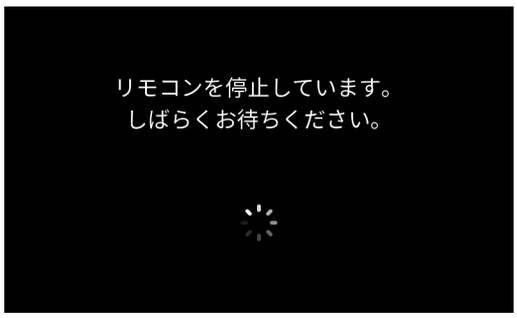


4 運転停止を確定する

「確定」をタッチします。



5 リモコンの電源スイッチを OFF にします。



※ 故障時以外は、契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカおよび、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしないでください。

蓄電システムを起動させる場合

蓄電システムを起動するには、以下の手順で行います。

1 リモコンを「ON」にする

リモコンの電源スイッチを「ON」にします。

※ 右の画面表示中はリモコンの電源を切らないでください。



2 メニュー画面に切り替える

トップ画面で「メニュー」をタッチします。



3 運転開始を選択する

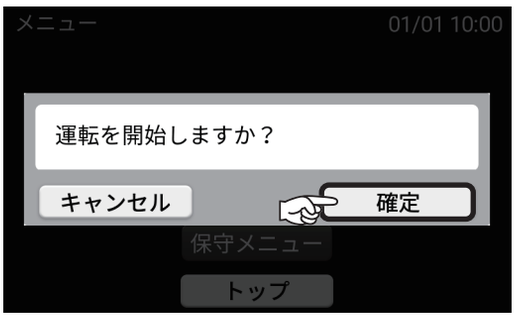
メニュー画面で「運転開始」をタッチします。



4 運転開始を確定する

「確定」をタッチします。

※ 10/11/15/16.5kWhシステムを設置している場合、起動に時間がかかることがあります。



5 トップ画面に戻る

「トップ」をタッチします。



※ メンテナンスモード中に運転停止した場合、「待機モード」で運転再開します。「運転モード/充放電時刻 の設定方法」（☞16ページ）にしたがって、運転モードも変更してください。

風水害または地震時の対応

- 風水害時に水没のおそれがあるときは、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、あらかじめ運転を停止させてください（☞32ページ）。
  運転開始する場合は、被害状況に応じて、お買い上げの販売会社までご連絡ください。

- 水没した場合には、リモコンの電源スイッチを「OFF」、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、運転を停止させた状態でお買い上げの販売会社までご連絡ください。

- 地震の場合は、被害状況に応じて、お買い上げの販売会社までご連絡ください。

※ リモコンの電源スイッチを「OFF」、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした場合は、必ず蓄電システム用分電盤内の切替スイッチを「系統」側に切り替えてください。

充放電電力が抑制される場合

パワーコンディショナの温度が高い場合に充放電電力が抑制され、「温度抑制中」と表示されることがあります。2～3日この状態が続くようでしたら、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
蓄電池ユニットの温度が低い場合もしくは高い場合も充放電電力が抑制される場合がありますが故障ではありません。また、お客様の契約内容によって外部機器やサーバーから充放電電力が抑制される場合があります。この場合は、「温度抑制中」は表示されません。



リモートが表示される場合

HEMS機器など制御機器やサーバーから制御されている場合に表示されます。
なお、リモート表示中もリモコン画面からの操作は可能です。

リモコン表示が頻繁に切り替わる場合

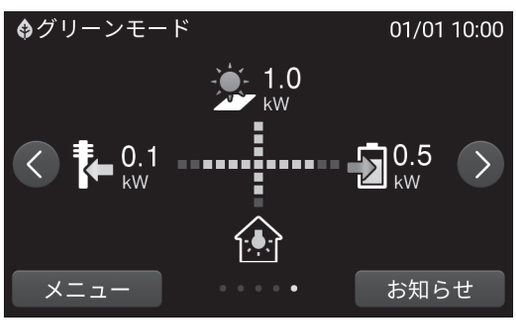
家庭内の消費電力が100W未満の場合および家庭内の消費電力と太陽光発電の発電電力が均等になる場合、リモコンの表示が放電と待機で繰り返し切り替わることがあります。

放電中に買電している場合

電力会社との取り決めにより、電力会社の送電線へ電力を逆流させない決まりとなっているため、
蓄電システムが家電製品に対して十分な電力を放電中でも微量の電力を買電する制御を行っています。

余剰充電中に売電している場合

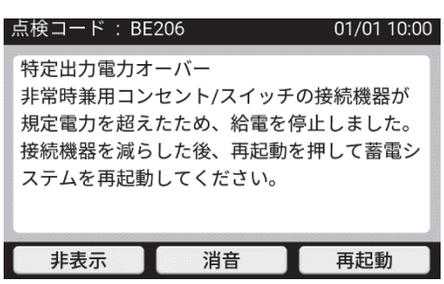
太陽光発電電力の余剰分を蓄電池に充電する場合、太陽光発電電力が変動しても買電とならないよう、微量の電力を売電する制御を行っています。



エラーメッセージが表示されたとき

エラーメッセージが表示されたときは、本製品の故障が考えられます。代表的なエラーメッセージの内容と処置を次の表に示します。表にしたがってすみやかに処置してください。
長期間放置すると過放電状態となり、使用できなくなるおそれがあります。
弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社にご連絡いただく際は、型式、製造番号、点検コードをご連絡ください。

※ 非表示ボタンをタッチすると、エラーメッセージ画面が解除されます。エラー状態が継続している場合には、解除後も約 60 秒すると、再度エラーメッセージが表示されます。
※ BF100 以外のエラーメッセージが表示された場合は、ブザーが鳴ります。消音ボタンをタッチすると、その都度ブザー音を消すことができます。



エラーメッセージ	処　置
点検コード:BExxx 蓄電システムが安全のため自動停止しました。 取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電システム用分電盤内にある切替スイッチを「系統」側にし、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード:BExxx 蓄電システムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンで再起動してください。 自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。

※「xxx」には 3 桁の点検コードが入ります。

エラーメッセージ	処　置
点検コード:BE206 特定出力電力オーバー　非常時兼用コンセント/スイッチの接続機器が規定電力を超えたため、給電を停止しました。 接続機器を減らした後、再起動を押して蓄電システムを再起動してください。	掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーターなど、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。 「(☞29ページ)」を合わせてご確認ください。
点検コード:BE449 周囲温度が低温のため、給電が制限されています。接続機器を減らしてください。3分後、自動的に復帰します。	お使いの家電製品を減らして再度お試しください。
点検コード:BE503 蓄電システムが安全のために停止しました。 電気機器に異常の無いことを確認し、下のボタンで再起動してください。自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	太陽光発電システム用ブレーカを「OFF」にして、再度手順に従って操作をしてください。再度エラーが出る場合はお買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード:BE520 蓄電システムが安全のため自動停止しました。 取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電システム用ブレーカ「OFF」にした後に、太陽光発電システムの運転を停止させてください。1分程度経過後、蓄電システム用ブレーカを「ON」にし、蓄電システムの運転を開始してください。 その後、太陽光発電システムの運転を開始してください。 再度エラーが出る場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード:BCxxx、BExxx、BFxxx 蓄電システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。自動停止を繰り返す場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード:BCxxx、BExxx、BFxxx 蓄電システムの確認が必要です。 繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード:BE753 経年劣化による発火･けが等の事故防止のため運転を停止しました。運転スイッチをOFFにしたうえで取扱説明書に記載されたお問い合わせ先にご連絡ください。	リモコンの日時設定が正しくない場合は、リモコンの現在日時設定にて日時設定を行い、リモコン側面の電源スイッチをOFF⇒ONしてください。日時設定が正しい場合は、お買い上げの販売外車にご連絡ください。

※「xxx」には 3 桁の点検コードが入ります。

エラー発生時における制御機器上での表示に関する注意点

HEMS 機器など制御機器と本製品を接続した場合、リモコンで表示されるエラーと制御機器で表示されるエラーは完全には一致していません。本製品のエラーの詳細についてはリモコン画面をご確認ください。

※ リモコン画面でエラーが表示されていても、制御機器にはエラーが表示されない場合があります。
※ 制御機器には、本製品のエラーの詳細は表示されず、エラーの有無についての情報のみ表示されます。
※ 制御機器でのエラー表示方法は機器ごとに異なります。機器の販売メーカーにご確認ください。

保証とアフターサービス

保証について

保証については保証書の内容をよくお読みください。
また、お買い上げの販売会社からの説明を受け「同意」のもと正しくご使用ください。

アフターサービスについて

■ご不明な点や修理に関するご相談は

ご相談および、ご不明な点は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

■蓄電システムの修理

修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。

・お買い上げ時期
・装置の型式と製造番号
（装置貼付の定格ラベル（☞8ページ）、機器情報画面（☞28ページ）に表示）
・故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

■蓄電システムの移設

お客様ご自身では移設を行わないでください。お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
機器を一時保管する場合は、屋内（湿気の少ないところ）に保管してください。

■蓄電システムの廃棄

蓄電池は指定業者での回収となります。
お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
費用はお客様負担となります。

■蓄電池ユニットの増設

蓄電池ユニットの増設（1台増設：5/5.5kWh→10/11kWh、10/11kWh→15/16.5kWh、
2台増設：5/5.5kWh→15/16.5kWh）
については、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
※蓄電池ユニットの増設可能な期間は、初回設置後2年以内で、在庫がある場合に限ります。
LBS-0500とLBS-0550の組み合わせはできません。

ソフトウェアの自動更新について

本製品の性能維持・向上を目的として、本ソフトウェアを自動更新する場合があります。
ソフトウェアの更新中は、蓄電システムは停止となります。この間リモコンの画面はアップデート開始直前の状態を表示しますが、異常ではありません。

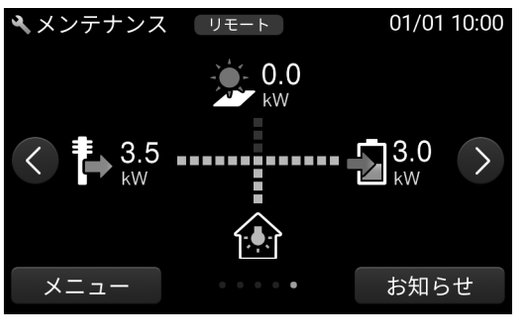
設定情報のリセットについて

設定情報をリセットする場合は、設定画面③（☞ 13 ページ）から「設定リセット」＞「確定」をタッチしてください。初期状態に戻り、運転停止になります。

●廃棄時や家の売却時など本製品を手放す際は、残留した設定情報が第三者に確認されるリスクを防ぐため「設定リセット」を行ってください。

蓄電池のメンテナンスモードについて

メンテナンスモードは、蓄電池の劣化状態を自動的に点検するモードで、蓄電池の状態によって、自動的に実行されることがあります。メンテナンスモード実行中は、トップ画面左上に「メンテナンス」（リモート）と表示されます。

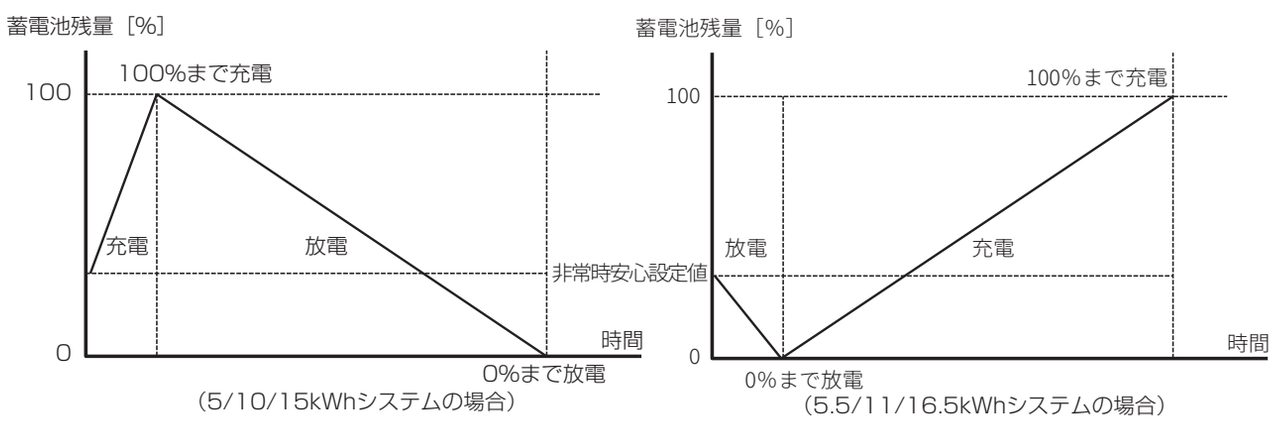


EGS-LM0500/1000/1500の場合、メンテナンスモード中は時間帯に関係なく、蓄電池100%まで充電した後、0%まで放電を行います。メンテナンスモード終了後は通常モードに戻ります。
EGS-LM0550/1100/1650の場合、メンテナンスモード中は時間帯に関係なく、蓄電池0%まで放電した後、100%まで充電を行います。メンテナンスモード終了後は通常モードに戻ります。
なお、メンテナンスモード実行中も、普段と同じように、家電製品をお使いいただけます。

メンテナンスモードが長時間継続し、終わらない場合

家庭内の消費が少ない場合や燃料電池などの外部発電機を併設される場合、メンテナンスモードが長時間継続し、終わらない場合があります。
家庭内の消費が十分であれば通常2日程度で終了しますが、空調などを稼働することで早く終了させることができます。
メンテナンスモード中に停電や機器異常が発生すると、メンテナンスモードは中止します。
1週間以上メンテナンスモードが継続する場合はお買い上げの販売会社にご相談ください。

台風接近などでメンテナンスモードを中止したい場合は、蓄電システムを停止・起動させてください。
（☞32 ～ 33ページ）
メンテナンスモード中に運転停止した場合、「待機モード」で運転再開するため、運転モードも変更してください。（☞16ページ）



メンテナンスモード動作時イメージ

※ 家庭内の消費電力が1000Wで、15kWhシステム（押し上げ設定無）の場合、メンテナンスモードに要する目安時間は約35時間となります。

仕様

■ 蓄電池ユニット

項目	仕様	
型式	LBS-0500	LBS-0550
外形寸法	W485 × H562 × D280 [mm]	
質量	64kg	
色	アイボリー	
設置場所	屋内・屋外	
電池種類	リチウムイオン電池	
定格容量※1	5/10/15kWh	5.5/11/16.5kWh

■ リモコン

項目	仕様
型式	TRM01
外形寸法	W170 × H151 × D24 [mm]
質量	375g
色	ホワイト
設置場所	屋内
表示モニタ	タッチパネル式カラー液晶（5.0 インチ）
ブザー	圧電ブザー（故障停止時お知らせ用）

■ 通信モデム

項目	仕様
型式	CML001G
外形寸法	W138 × H65 × D17 [mm]
質量	85g
色	ホワイト
設置場所	屋内
通信方式	LTE カテゴリー 1
内蔵通信モジュール	ELS31- JK （認証番号 R : 003-150276 , T : D150192003）

■ パワーコンディショナ

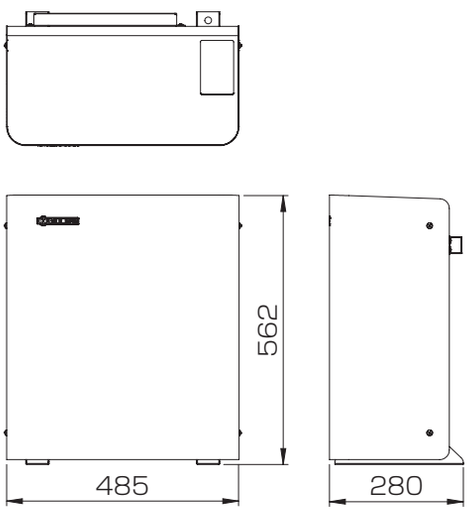
項目		仕様
型式		SBS-300
外形寸法		W495 × H554 × D197 [mm]
質量（取付板含む）		30kg
色		アイボリー
設置場所		屋外（または屋内）
冷却方式		自然空冷※2
騒音		40dB 以下※3
蓄電池入出力		
	定格電圧	DC153.6V
	運転可能電圧	DC96.0V ～ 172.8V
交流出力		
	定格出力電力	3.0kW(連系)※4 2.0kVA(自立)
	定格電圧	202V　単相 2 線式 / 3 線接続（連系） 101V　単相 2 線式（自立）
	周波数	50/60Hz
電力変換効率※5		放電時電力変換効率：94% 充電時電力変換効率：94%
絶縁方式		非絶縁トランスレス方式
運転停止時消費電力		25W
自立運転時待機消費電力		40W
連系保護機能		交流過電圧（OVR）、交流不足電圧（UVR） 周波数上昇（OFR）、周波数低下（UFR） 受動的単独運転検出、能動的単独運転検出 逆電力 (RPR) ※6

※1 初期実効容量はLBS-0500が4.0kWh/8.1kWh/12.1kWh(JEM 1511による)で、LBS-0550が4.7kWh/9.4kWh/14.1kWh(JIS C 4413による)です。
※2 自立運転時のみ内部冷却用FANが動作します。
※3 運転時にJIS C8980：2009 に基づき無響音室で測定した値です。
※4 EGS-LM0500/0550では出力電力を約1.5kWに抑制します。
※5 JIS C 8961に基づく効率(定格負荷効率)測定方法による。
※6 蓄電池からの放電時において逆潮流を防止するため、約100Wの順潮流（買電）制御を行います。また安定動作のため、130Wの順潮流（買電）が発生するまでは、蓄電池からの放電は行いません。

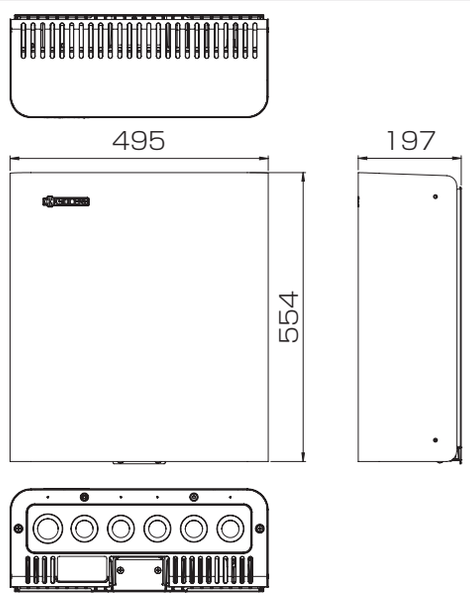
外形寸法

単位：mm

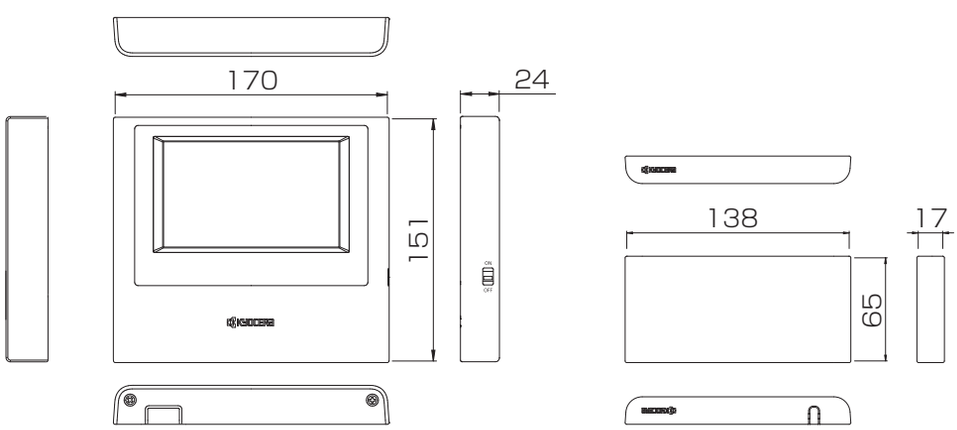
蓄電池ユニット



パワーコンディショナ



リモコン（左）、通信モデム（右）



ソフトウェアライセンスについて

リモコン・TRM01（以下、「本製品」といいます）は、当社以外の第三者が規定した使用許諾契約または著作権通知書（以下、総称して「使用許諾契約等」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネンツ（以下、「フリーソフトウェア」といいます）を使用しています。
本製品で使用しているフリーソフトウェアおよび各フリーソフトウェアの適用ライセンスは下記になります。各ライセンスの詳細は京セラWebサイト(https://www.kyocera.co.jp/solar/products/enerezza/)よりご確認ください。

フリーソフトウェア名	適用ライセンス
amx3-cm3	TI-TSPA
base-files	GPLv2.0
base-passwd	GPLv2.0
bash	GPLv2.0
busybox	GPLv2.0
	bzip2
bzip2	bzip2
ca-certificates	GPLv2.0
	MPL-2.0
cronie	ISC
	BSD-3-Clause
	BSD-2-Clause
	GPLv2.0
cryptodev-module	GPLv2.0
curl	MIT
devmem2	GPLv2.0
dosfstools	GPLv3.0
e2fsprogs	GPLv2.0
	LGPLv2.0
	BSD-3-Clause
	MIT
ethtool	GPLv2.0
eudev	GPLv2.0
	LGPLv2.1+
expat	MIT
external-linaro-toolchain	LGPLv2.1
	GPLv3.0
	GPLv3.0-with-GCC-exception
gawk	GPLv3.0
gdb	GPLv2.0
	GPLv3.0
	LGPLv2.0
	LGPLv3.0
gdbm	GPLv2.0
grep	GPLv3.0
init-ifupdown	GPLv2.0
initscripts	GPLv2.0
kmod	LGPLv2.1+
libcap	BSD-3-Clause
	GPLv2.0
libffi	MIT
libpam	BSD-3-Clause
	GPLv2.0
libpcap	BSD-3-Clause
libusb1	LGPLv2.1+
kernel	GPLv2.0
md5	RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm
mmc-utils	GPLv2.0
modutils-initscripts	PD
mtd-utils	GPLv2.0
ncurses	MIT
netbase	GPLv2.0
NotoSansCJKjp	OFLv1.1
ntp	NTP
openssh	BSD-3-Clause

openssl	openssl "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)" "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
opkg-utils	GPLv2.0
packagegroup-core-boot	MIT
parted	GPLv3.0
ppp	BSD-3-Clause
	GPLv2.0
	LGPLv2.0+
	PD
procps	GPLv2.0
	LGPLv2.0
prueth-fw	TI-TFL
python	PSFv2
readline	GPLv3.0+
roboto	Apache License 2.0
run-postinsts	MIT
shadow	BSD-3-Clause
	Artistic-1.0
shadow-securetty	MIT
sqlite3	PD
strace	BSD-3-Clause
sysvinit	GPLv2.0
sysvinit-inittab	GPLv2.0
tcpdump	BSD-3-Clause
TeX-Gyre-Heros	GUST Font License(LPPLv1.3c+)
u-boot	GPLv2.0
update-rc.d	GPLv2.0
usbutils	GPLv2.0
util-linux	GPLv2.0
	LGPLv2.1+
	BSD-3-Clause
liblzma	PD
xz	GPLv2.0
zlib	Zlib

フリーソフトウェアの中には、使用許諾契約等において配布の条件として当該フリーソフトウェアのソースコードの入手を可能にすることを定めているものがございます。お客様が当該フリーソフトウェアのソースコードの入手をご希望の場合には、京セラのWebサイト内のお問い合わせフォーム(http://www.kyocera.co.jp/inquiry)よりご連絡ください。なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、あらかじめご了承ください。また、ソースコードの入手については、本製品の販売終了後3年に限り有効となっておりますので、ご注意ください。

フリーソフトウェアの中にはお客様による使用が認められるものがありますが、その場合当社、当該フリーソフトウェアの著作者を含む第三者は“as is”の状態で、明示か黙示かを問わず、一切の保証（市場性や特定目的への適合性への保証を含みますがこれに限定されません）がないことを条件として提供します。フリーソフトウェアの品質や性能に関する全てのリスクはお客様が負担するものとします。また、フリーソフトウェアの欠陥を原因とする派生的費用や修理、修正等に要する費用はお客様の負担となります。損害発生の可能性を知らされていたか否かに関わらず、当社、フリーソフトウェアの著作者、許諾を受けてフリーソフトウェアの変更、再配布をする第三者は、法令または書面による明示的な合意がある場合を除きフリーソフトウェアを使用したこと或いは使用できないことを原因とする一切の損害について何ら責任を負いません。この損害には通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます。また、データの喪失、その正確さの喪失、お客様や第三者の被った損害も含まれますがこれに限定されません。

本製品に内蔵または付属するソフトウェアの中には当社が所有権、著作権を有するものが含まれます。それらのソフトウェアのソースコード提供はいたしませんのでご了承ください。

補助金に関するご注意

補助金の交付を受けて本製品を購入された場合、設置時から 6 年間は本製品を適正にご使用していただく必要があります。設置時から期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

停電時にも利用したい家電製品は非常時兼用コンセントに接続してください。

設定されている非常時兼用コンセントがご不明な場合はお買い上げの販売会社にお問い合せください。

	設置場所
非常時兼用コンセント 	
蓄電システム用分電盤 	
太陽光発電用ブレーカ 	

愛情点検	長年ご使用の住宅用ソーラー＆蓄電システムの点検を！
	このような症状はありませんか ● 漏電ブレーカが自動的に「切」になるとき ● 正しい使用方法にしたがって使用していても不明な点があるとき このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため必ず、販売会社に点検をご相談ください。

京セラ株式会社

修理･アフターメンテナンスのご用命は、「弊社専用ダイヤル」へ

フリーコール 0120-33-5582（無料）

受付時間
9:00 ～ 17:00
土曜･日曜･祝日も
受け付けております。

・「Enerezza」「Enerezza(ロゴ)」「ハウスマイル」は京セラ株式会社の登録商標です。
・QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
・LTEは、ETSIの商標です。
・エコキュートは、関西電力株式会社の登録商標です。

KYOCERA

京セラ株式会社

スマートエナジー事業本部

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6 〒612-8501

お問合せ、ご相談は下記へご連絡ください。

© 2026 KYOCERA Corporation
当説明書に記載の情報は2026年4月時点のものです。
当説明書については、無断で複製、転載することを禁じます。

KM-SP-0914-9